

千葉県コロナ下における
社会とのつながりに関する
実態調査報告書

令和4年3月

千葉県

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査実施の目的	3
2 調査の種類	3
3 調査方法と回収状況	3
4 調査項目	3
5 調査結果を見る上での注意事項	4
第2章 調査結果の詳細	5
1. 基本属性	7
（1）年齢	7
（2）職業	7
（3）婚姻状況	8
（4）世帯年収	8
（5）個人年収	9
（6）世帯構成	9
2. 働き方（収入）について	10
（1）新型コロナウイルス感染症拡大後の仕事の状況	10
（2）感染症拡大後の仕事の状況変化の内容	11
（3）感染症拡大後の世帯収入の変化	13
（4）感染症拡大後の個人収入の変化	14
3. 生活・行動への影響について	16
（1）感染症拡大後の生活や行動の変化	16
（2）感染症拡大後の生活や行動の変化の内容	17
4. 心身の影響について	20
（1）感染症拡大前と影響下での生活満足度と満足度	20
（2）生活満足度が変化した理由	23
（3）感染症拡大下での心身の変化	24
（4）感染症拡大下での心身の変化の内容	25
（5）感染症拡大下での不安やストレスの内容	28
5. 孤独・孤立について	31
（1）困りごとの相談先の有無	31
（2）主な困りごとの相談先	32
（3）子どもの有無・人数	34
（4）一番下の子どもの学齢	35
（5）子育てに関する悩みの相談先の有無	35
（6）子育てに関する悩みの主な相談先	36

6. 困っていること、必要な支援について	38
（1）現在抱える困りごとの内容	38
（2）今必要であると感じる支援	41
（3）公的支援機関等から支援を受ける際に希望する相談方法	44
（4）相談したいSNSの媒体	46
（5）公的相談窓口の認知度	47
（6）「千葉県女性のためのつながりサポート相談」を知るきっかけ	49
（7）感染症拡大後に公的相談機関等に相談した経験の有無	50
（8）相談した窓口や団体	51
（9）自由意見	53

第3章 使用した調査票	55
-------------	----

第1章 調査の概要

1 調査実施の目的

新型コロナウイルス感染症の女性への影響が大きくなっている中、孤独を感じ、社会的に孤立している方に寄り添ったきめ細かな支援が必要となっている。

については、市内女性の実態を把握し、支援内容検討の基礎資料とするため、アンケート調査を実施する。

2 調査の種類

調査名	調査対象
千葉県コロナ下における女性の 孤独・孤立に関する実態調査	市内に住所のある満18歳から 65歳未満の女性3,000名

3 調査方法と回収状況

調査方法：郵送とインターネットによるアンケート調査

調査期間：令和4年1月6日（木）～1月31日（月）

〈回収状況〉

発送数	回収数		回収率
3,000件	1,417件	（内訳） 郵送：847件 WEB：570件	47.2%

4 調査項目

- (1) 働き方(収入)について
- (2) 生活・行動への影響について
- (3) 心身の影響について
- (4) 孤独・孤立について
- (5) 困っていること、必要な支援について
- (6) あなたについて

5 調査結果を見る上での注意事項

- ・ 本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・ 百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・ 複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・ 本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・ 回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

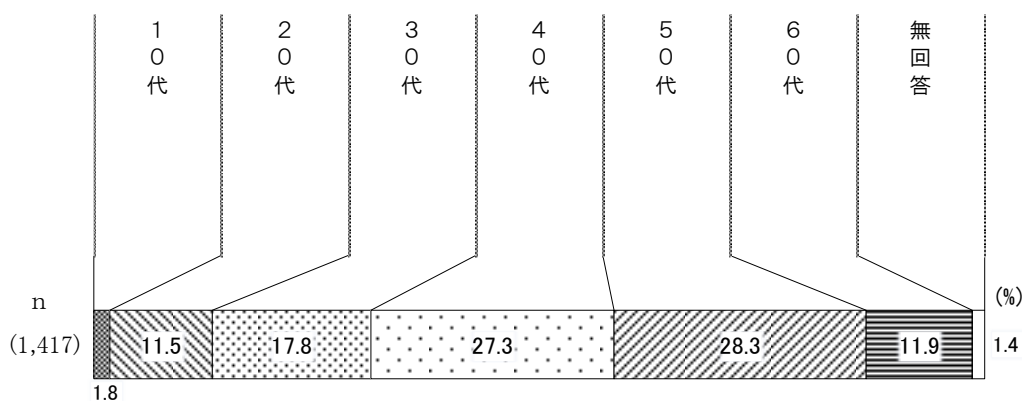
第2章 調査結果の詳細

1. 基本属性

(1) 年齢

F 1 あなたの年齢（令和4年1月1日現在）にあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

図表 年齢（全体）

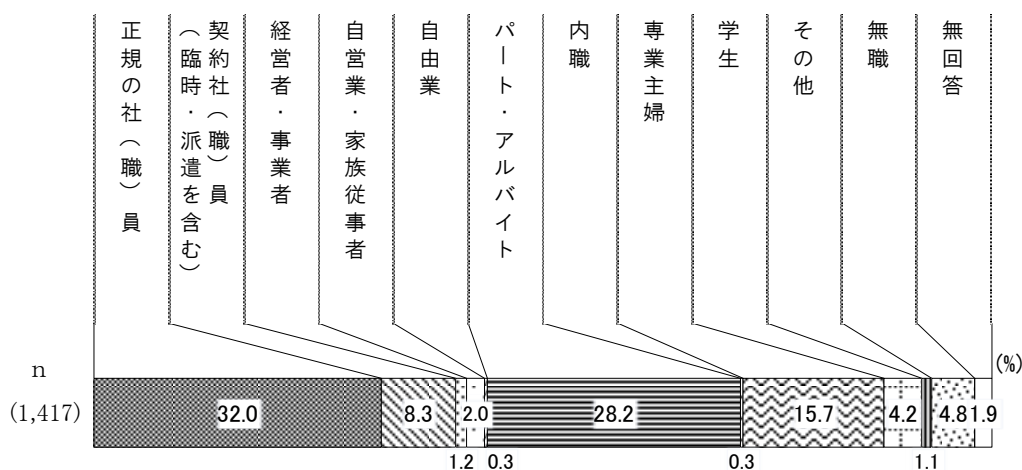


回答者の年齢は、「50代」が28.3%で最も高く、以下、「40代」(27.3%)、「30代」(17.8%)、「60代」(11.9%)と続いている。

(2) 職業

F 2 あなたの就労状況について、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

図表 職業（全体）

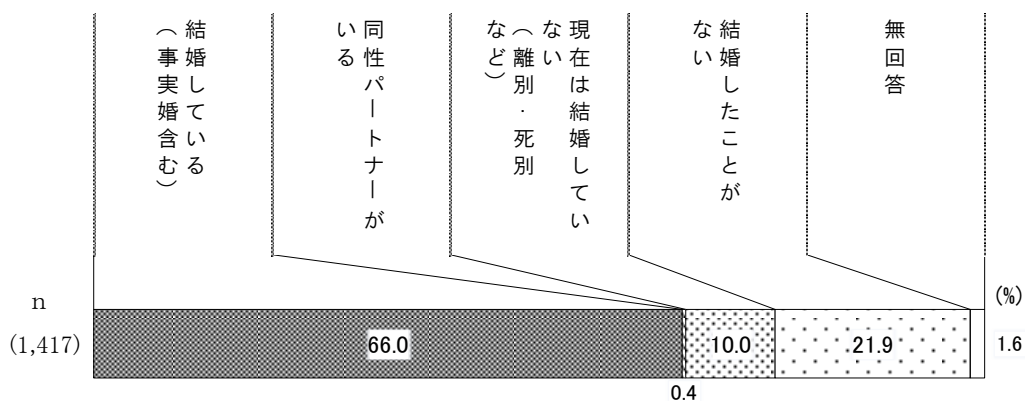


回答者の就労状況は、「正規の社(職)員」が32.0%で最も高く、以下、「パート・アルバイト」(28.2%)、「専業主婦」(15.7%)、「契約社(職)員(臨時・派遣を含む)」(8.3%)と続いている。

(3) 婚姻状況

F 3 あなたの現在の婚姻状況（事実婚含む）にあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

図表 婚姻状況（全体）

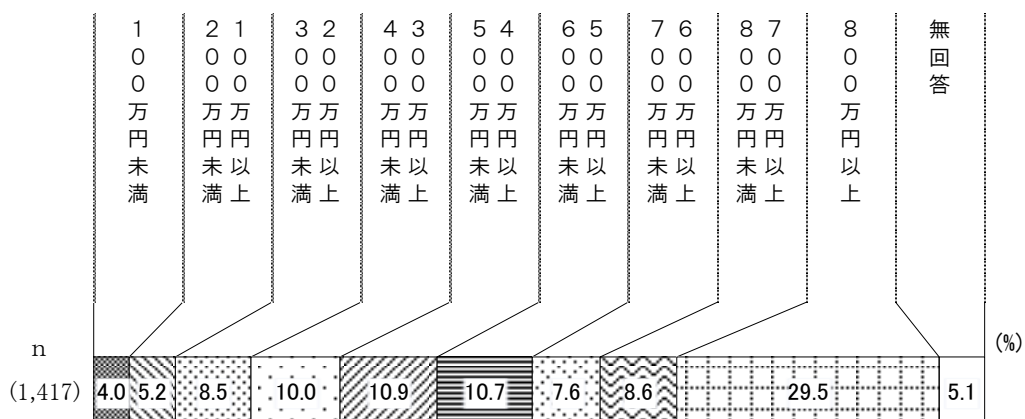


回答者の婚姻状況は、「結婚している（事実婚含む）」が66.0%で最も高く、「現在は結婚していない（離別・死別など）」は10.0%となっている。一方、「結婚したことがない」は21.9%である。

(4) 世帯年収

F 4 あなたの世帯の年収について、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

図表 世帯年収（全体）

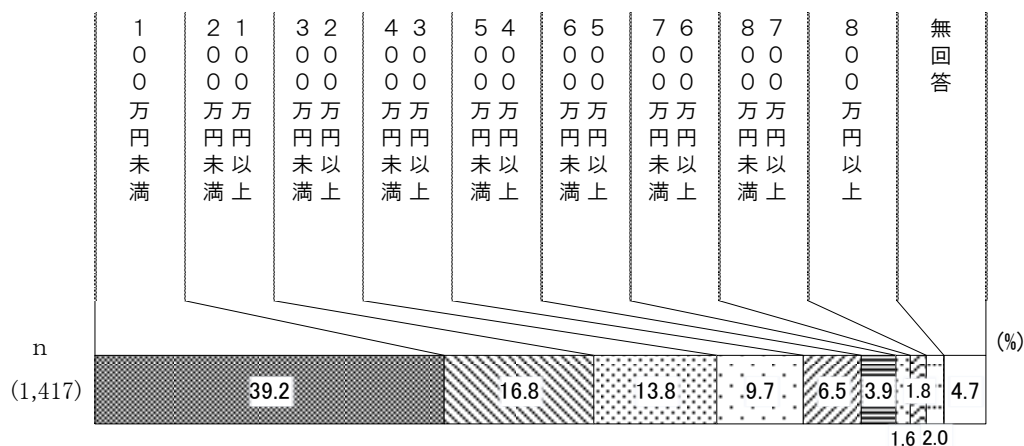


回答者の世帯収入は、「800万円以上」が29.5%で最も高く、以下、「400万円以上500万円未満」（10.9%）、「500万円以上600万円未満」（10.7%）、「300万円以上400万円未満」（10.0%）と続いている。

(5) 個人年収

F5 あなたの個人の年収について、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

図表 個人年収（全体）

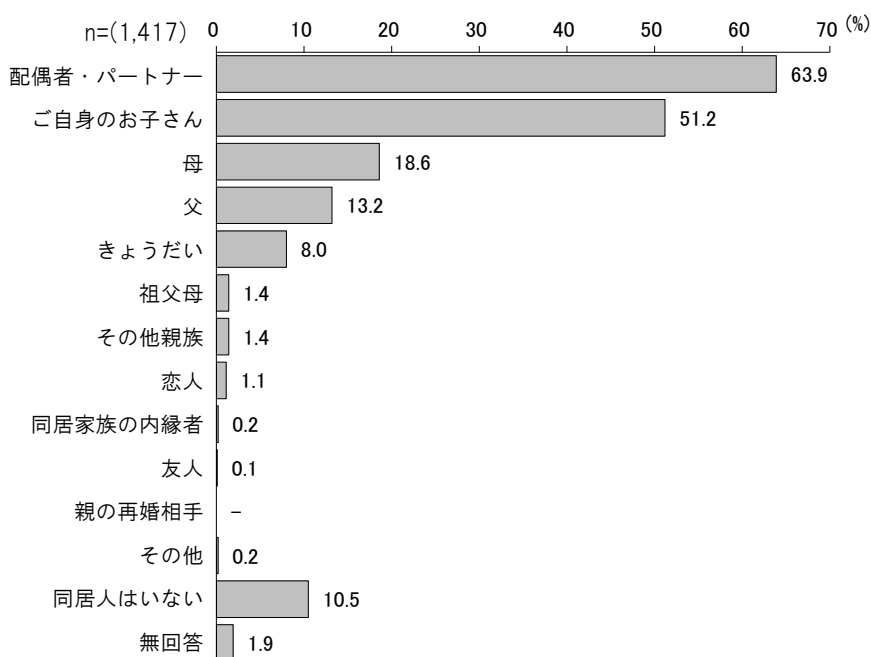


回答者の個人年収は、「100万円未満」が39.2%で最も高く、以下、「100万円以上200万円未満」(16.8%)、「200万円以上300万円未満」(13.8%)、「300万円以上400万円未満」(9.7%)と続いている。

(6) 世帯構成

F6 現在、あなたと同居している人について、あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

図表 世帯構成（全体）



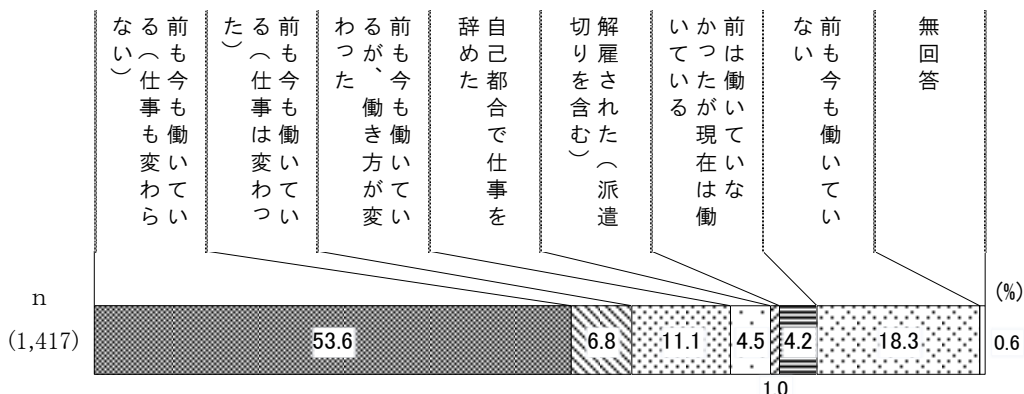
回答者の世帯構成は、「配偶者・パートナー」が63.9%で最も高く、以下、「ご自身のお子さん」(51.2%)、「母」(18.6%)、「父」(13.2%)と続いている。一方、「同居人はいない」は10.5%である。

2. 働き方（収入）について

(1) 新型コロナウイルス感染症拡大後の仕事の状況

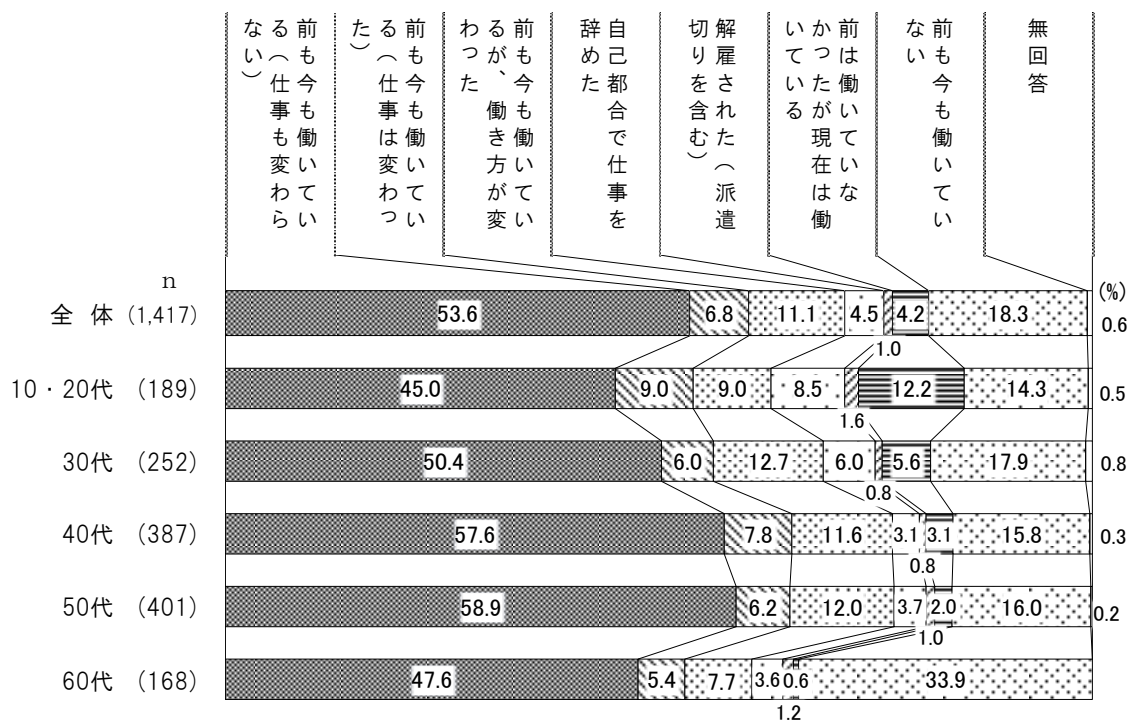
問1 新型コロナウイルス感染症拡大前と現在で、仕事の状況は変わりましたか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

図表 新型コロナウイルス感染症拡大後の仕事の状況（全体）



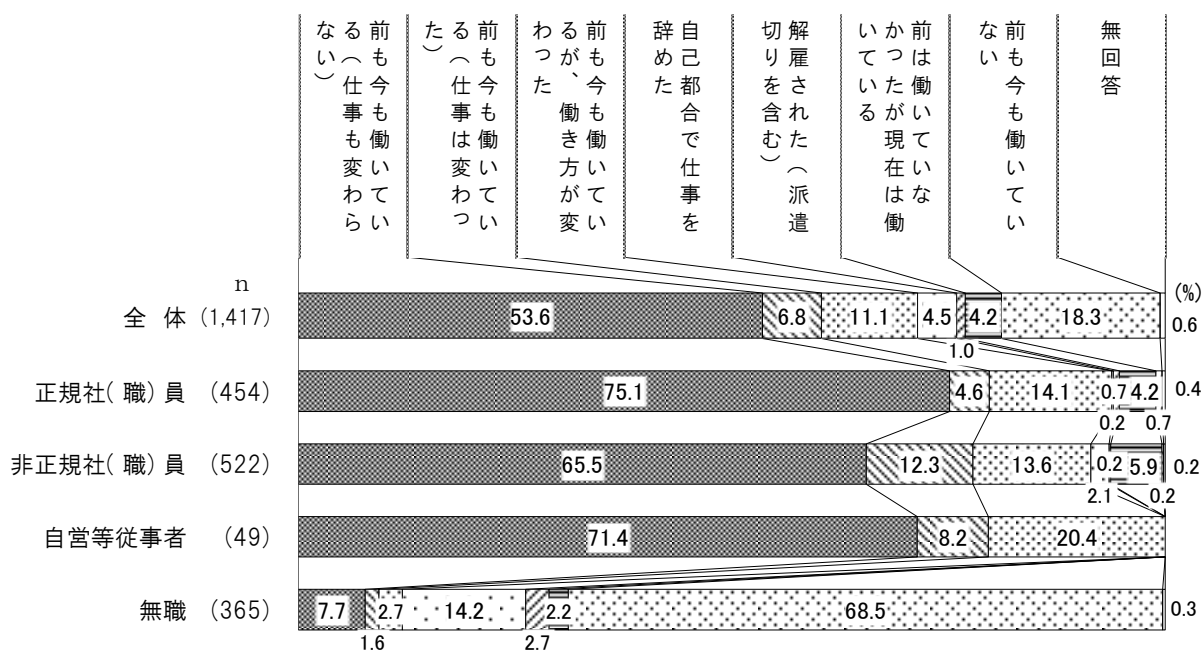
新型コロナウイルス感染症拡大後の仕事の状況は、「前も今も働いている(仕事も変わらない)」が53.6%で最も高く、以下、「前も今も働いていない」(18.3%)、「前も今も働いているが、働き方が変わった」(11.1%)、「前も今も働いている(仕事は変わった)」(6.8%)と続いている。

図表 新型コロナウイルス感染症拡大後の仕事の状況（年代別）



年代別で見ると、「前も今も働いている(仕事も変わらない)」は、50代(58.9%)、40代(57.6%)で6割弱となっている。「前は働いていなかったが現在は働いている」は、10・20代が12.2%と高くなっている。

図表 新型コロナウイルス感染症拡大後の仕事の状況（職業別）

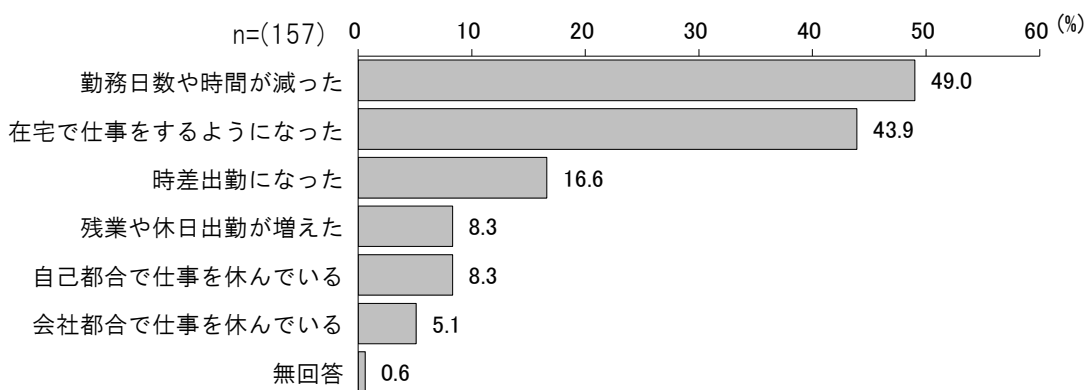


職業別でみると、「前も今も働いている(仕事も変わらない)」は、〈正規社(職)員〉(75.1%)で7割台半ばと最も高くなっている。「前も今も働いている(仕事は変わった)」は、〈非正規社(職)員〉(12.3%)で1割強と高くなっている。

(2) 感染症拡大後の仕事の状況変化の内容

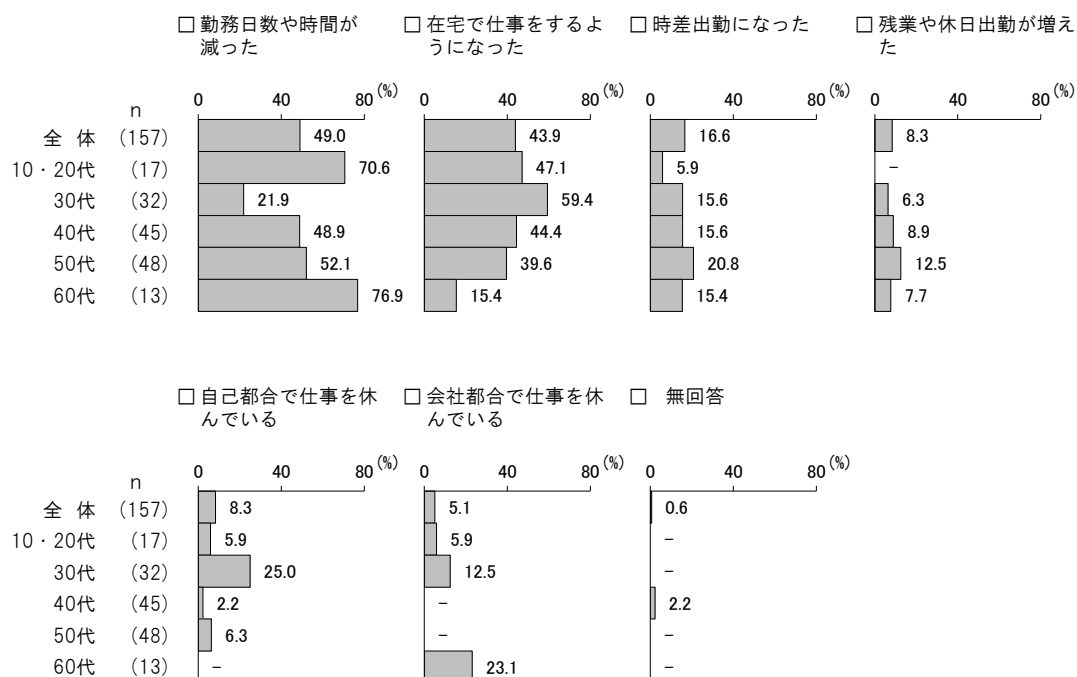
問1で「3. 前も今も働いているが、働き方が変わった」と回答された方におたずねいたします。
 問1-1 どのような変化がありましたか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

図表 感染症拡大後の仕事の状況変化の内容（全体）



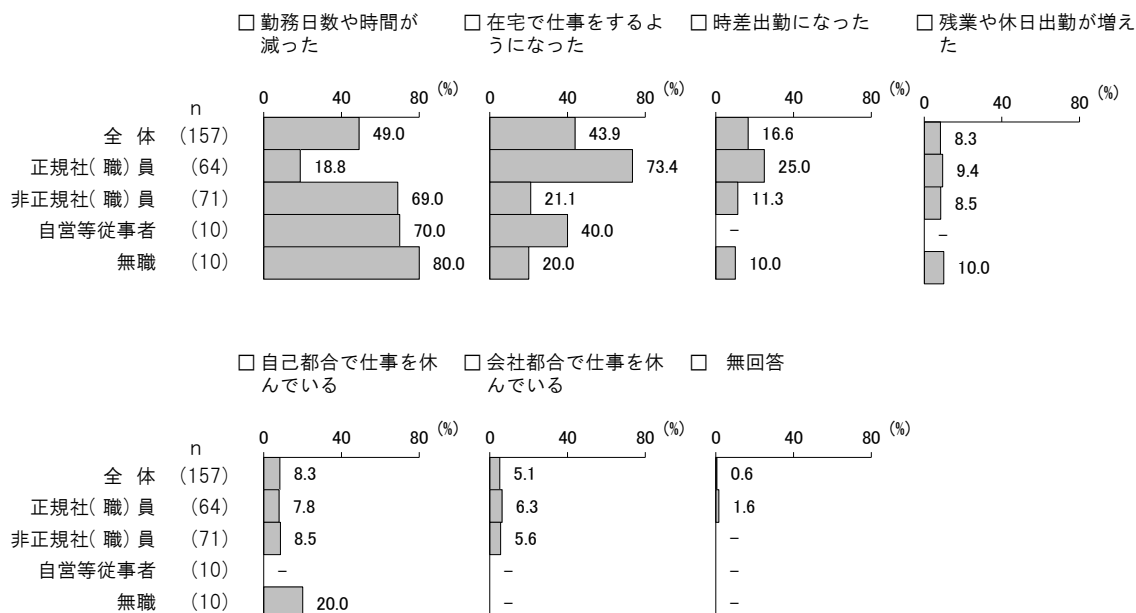
感染症拡大後の仕事の状況変化の内容は、「勤務日数や時間が減った」が49.0%と最も高く、以下、「在宅で仕事をするようになった」(43.9%)、「時差出勤になった」(16.6%)と続いている。

図表 感染症拡大後の仕事の状況変化の内容（年代別）



年代別で見ると、「勤務日数や時間が減った」は、30代(21.9%)が約2割と他の年代と比較して低くなっている。「在宅で仕事をするようになった」は30代から50代で約4割から約6割と高い傾向がみられる。

図表 感染症拡大後の仕事の状況変化の内容（職業別）

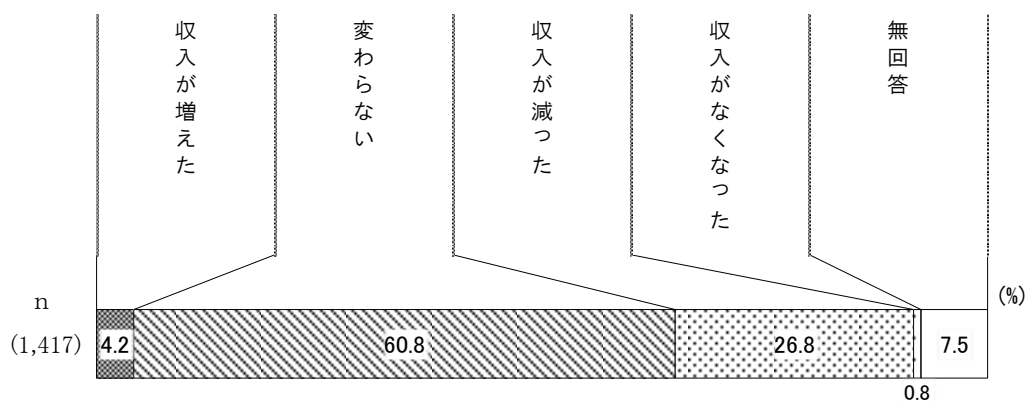


職業別で見ると、「勤務日数や時間が減った」は、〈正規社(職)員〉(18.8%)が2割弱と他の職業と比較して低くなっている。「在宅で仕事をするようになった」は〈正規社(職)員〉(73.4%)が7割強と最も高く、〈非正規社(職)員〉(21.1%)よりも52.3ポイント上回っている。

(3) 感染症拡大後の世帯収入の変化

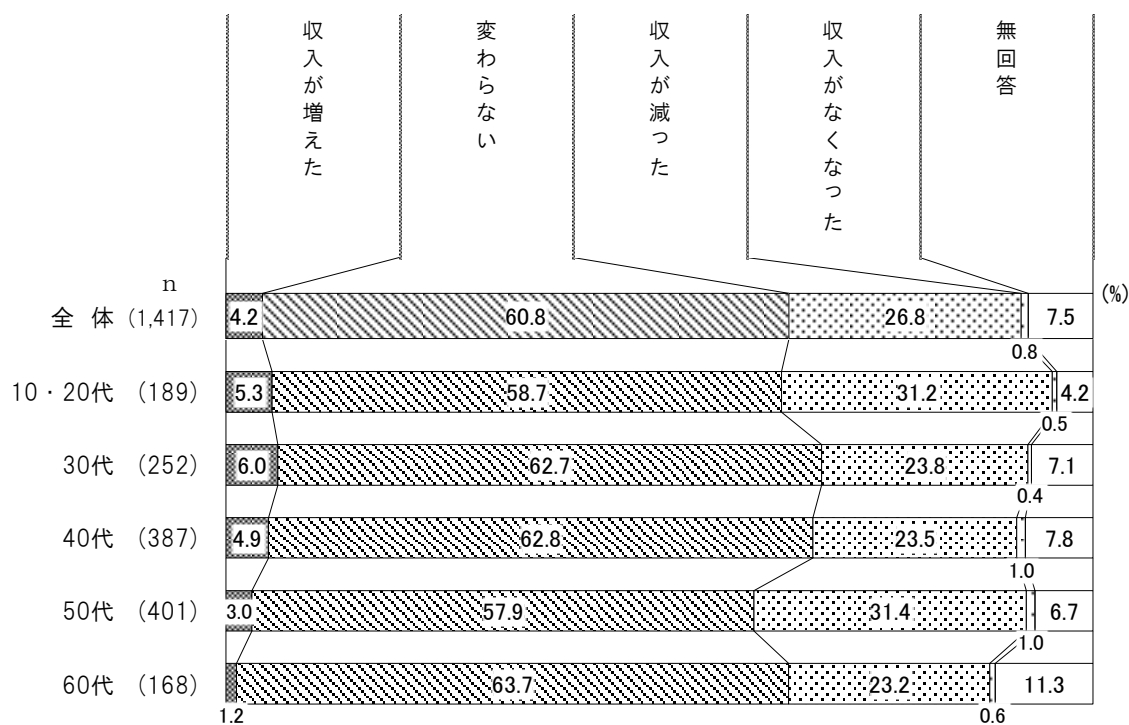
問2 新型コロナウイルス感染症拡大前と現在で、世帯の収入に変化はありましたか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

図表 感染症拡大後の世帯収入の変化（全体）



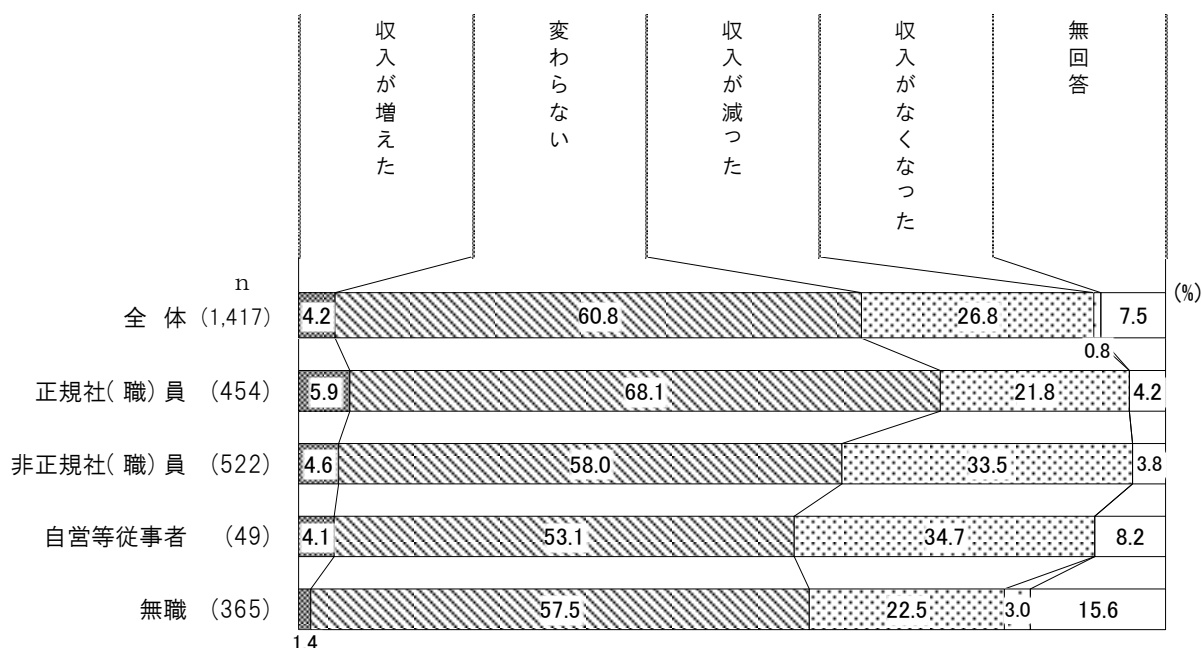
感染症拡大後の仕事の状況変化の内容は、「変わらない」(60.8%)が全体の6割を占める。一方、「収入が減った」は26.8%、「収入が増えた」は4.2%となっている。

図表 感染症拡大後の世帯収入の変化（年代別）



年代別でみると、「収入が減った」は、50代(31.4%)、10・20代(31.2%)で3割強と高くなっている。「収入が増えた」は30代が6.0%で最も高いものの、すべての年代で1割未満となっている。

図表 感染症拡大後の世帯収入の変化（職業別）

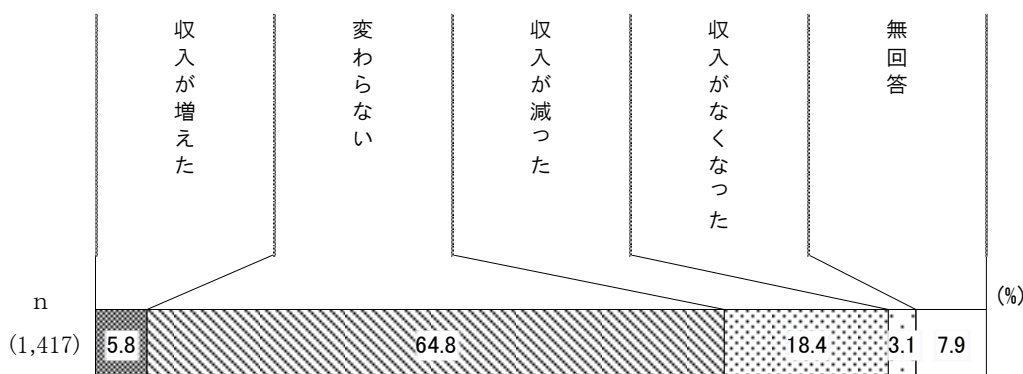


職業別で見ると、「変わらない」は、〈正規社(職)員〉(68.1%)で7割弱と最も高くなっている。「収入が減った」は、〈自営等従事者〉(34.7%)で3割台半ばと最も高く、次いで〈非正規(職)社員〉(33.5%)が3割強となっている。

(4) 感染症拡大後の個人収入の変化

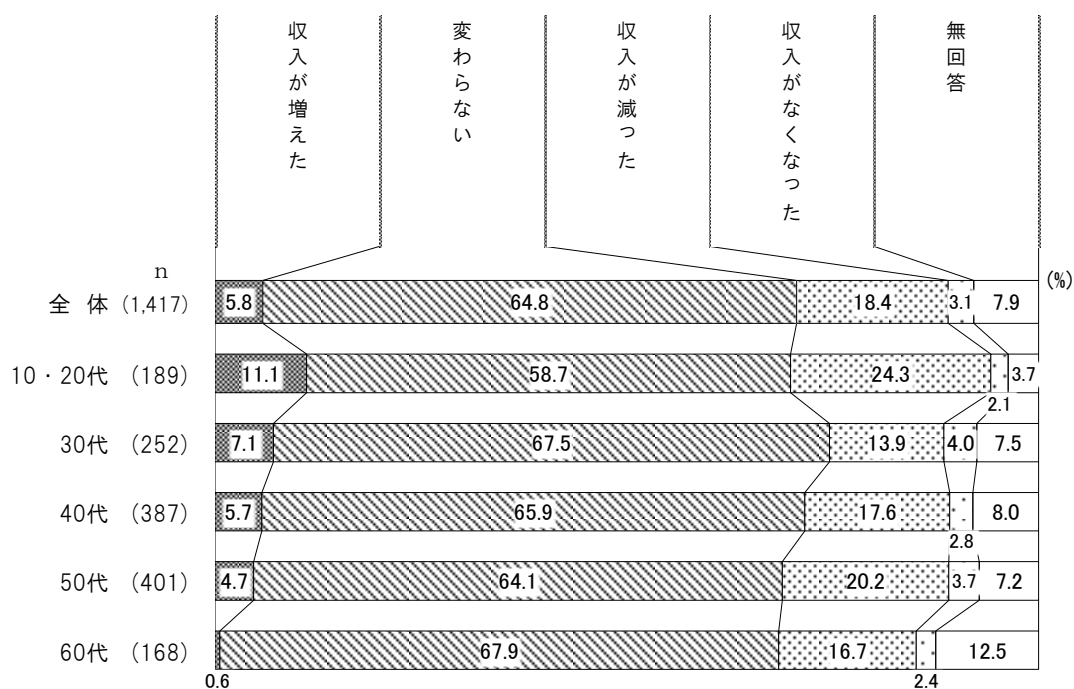
問3 新型コロナウイルス感染症拡大前と現在で、あなた個人の収入に変化はありましたか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

図表 感染症拡大後の個人収入の変化（全体）



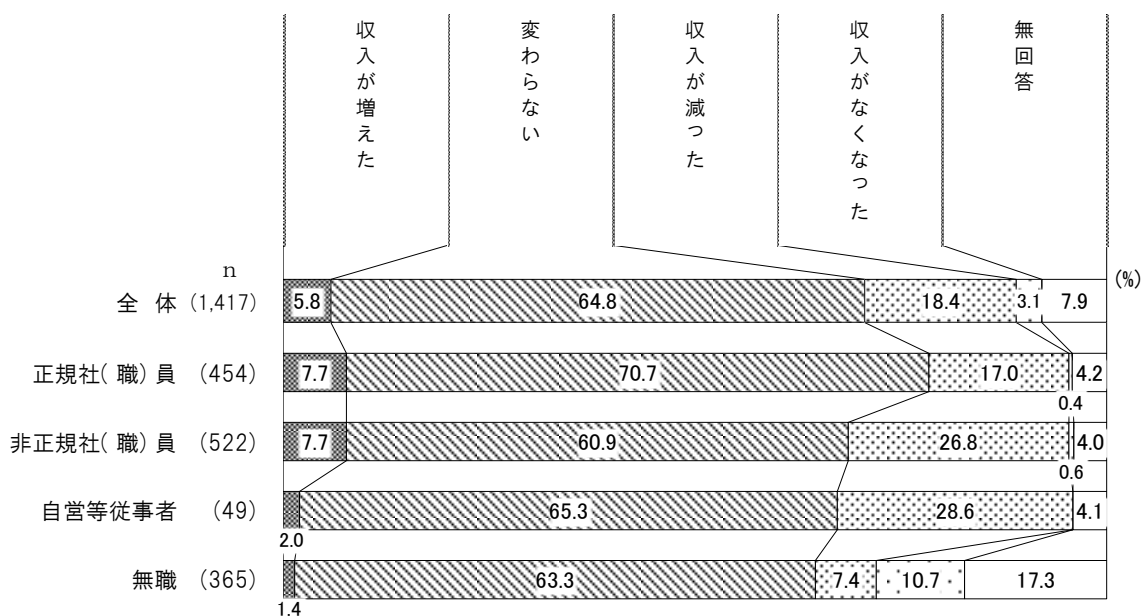
感染症拡大後の個人収入の変化は、「変わらない」(64.8%)が全体の6割台半ばを占める。一方、「収入が減った」は18.4%、「収入が増えた」は5.8%となっている。

図表 感染症拡大後の個人収入の変化（年代別）



年代別でみると、「収入が減った」は、10・20代(24.3%)で2割台半ば、50代(20.2%)で2割と高くなっている。「収入が増えた」は10・20代が11.1%と最も高く、それ以外の年代では1割未満となっている。

図表 感染症拡大後の個人収入の変化（職業別）



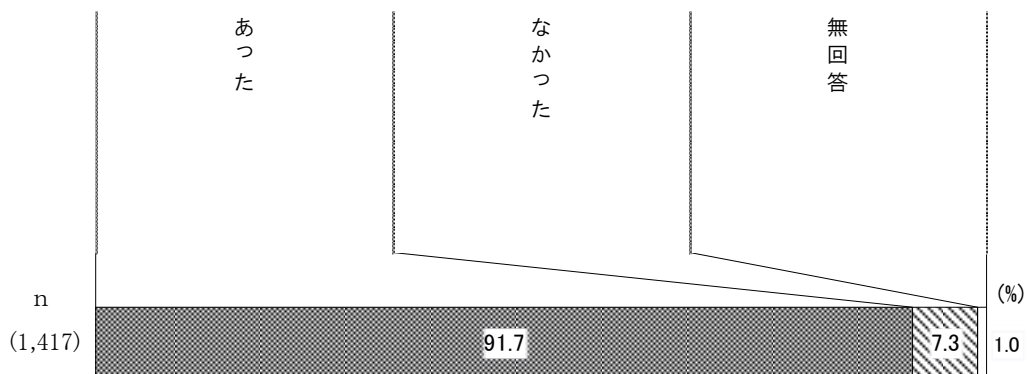
職業別でみると、「変わらない」は、〈正規社(職)員〉(70.7%)で7割と最も高くなっている。「収入が減った」は、〈自営等従事者〉(28.6%)で3割弱と最も高く、次いで〈非正規(職)社員〉(26.8%)が2割台半ばとなっている。

3. 生活・行動への影響について

(1) 感染症拡大後の生活や行動の変化

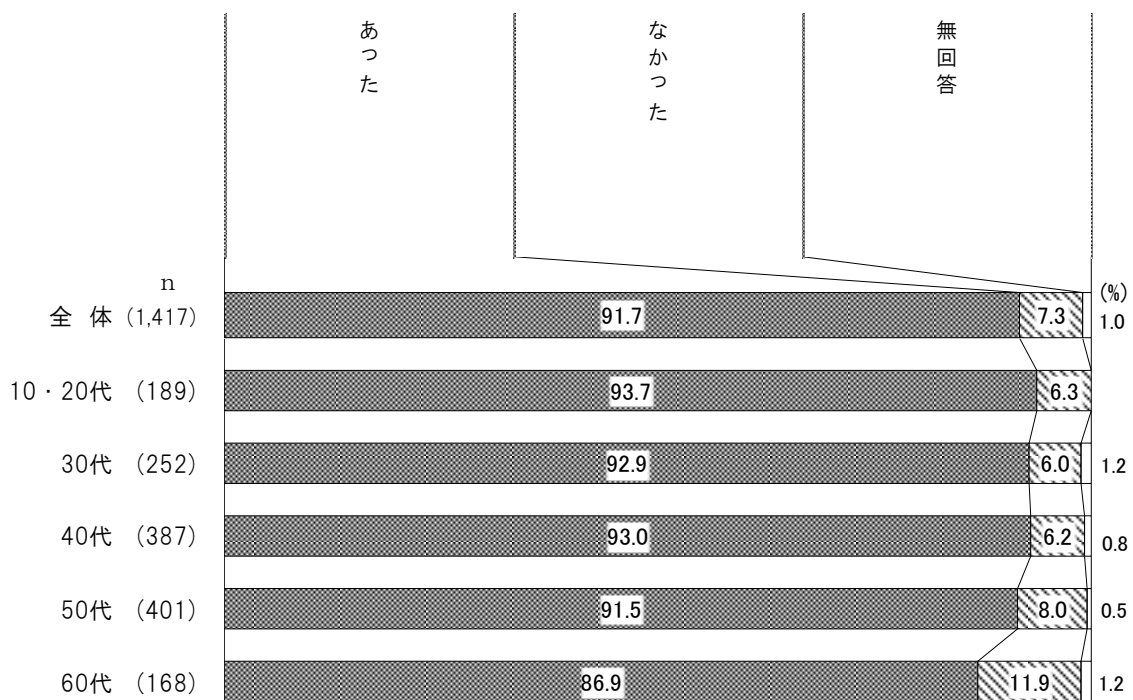
問4 新型コロナウイルス感染症拡大により生活や行動に変化はありましたか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

図表 感染症拡大後の生活や行動の変化（全体）



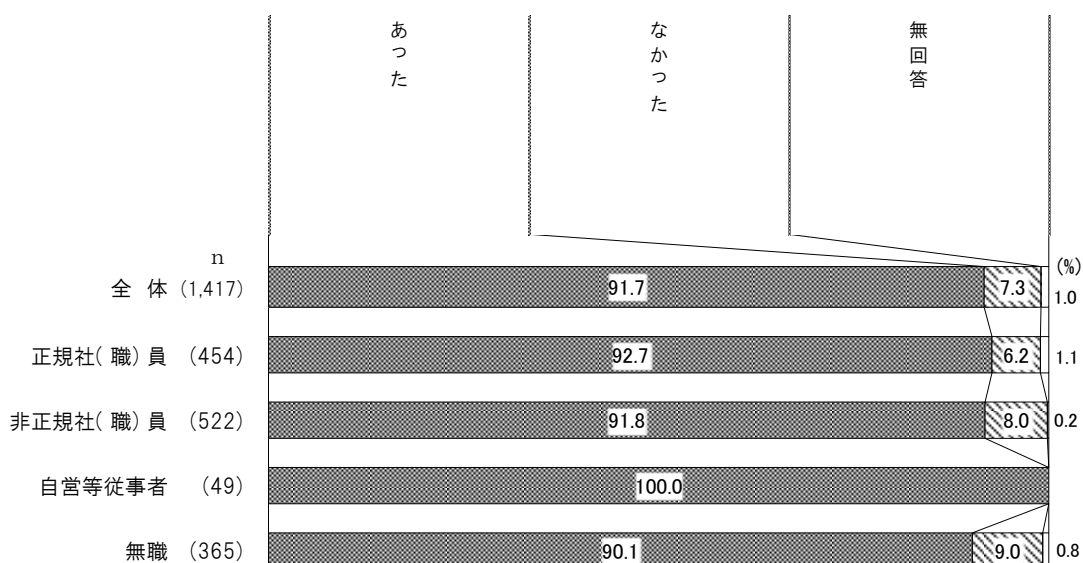
感染症拡大後の生活や行動の変化は、「あった」が91.7%、「なかった」が7.3%となっている。

図表 感染症拡大後の生活や行動の変化（年代別）



年代別でみると、「あった」は、10・20代(93.7%)が最も高く、60代を除くすべての年代で9割以上となっている。「なかった」は60代(11.9%)で1割強となっている。

図表 感染症拡大後の生活や行動の変化（職業別）



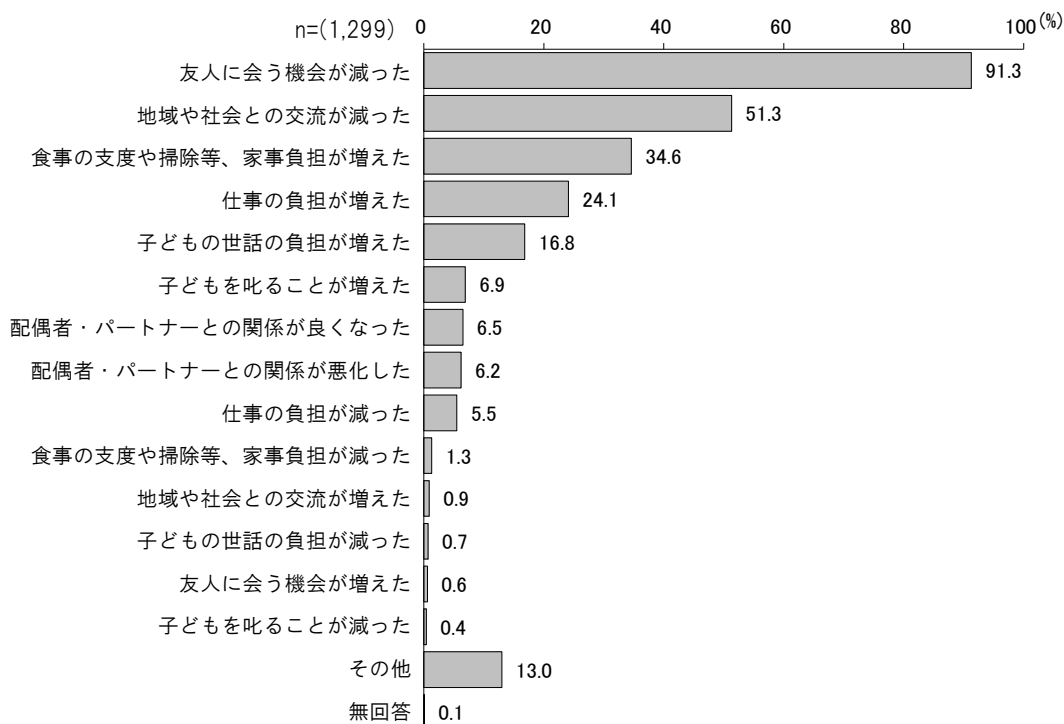
職業別でみると、「あった」は、〈自営等従事者〉(100.0%)で10割と最も高く、すべての職業で9割を超えて高い傾向がある。「なかった」はすべての職業で1割未満となっている。

(2) 感染症拡大後の生活や行動の変化の内容

問4で「1. あった」と回答された方におたずねいたします。

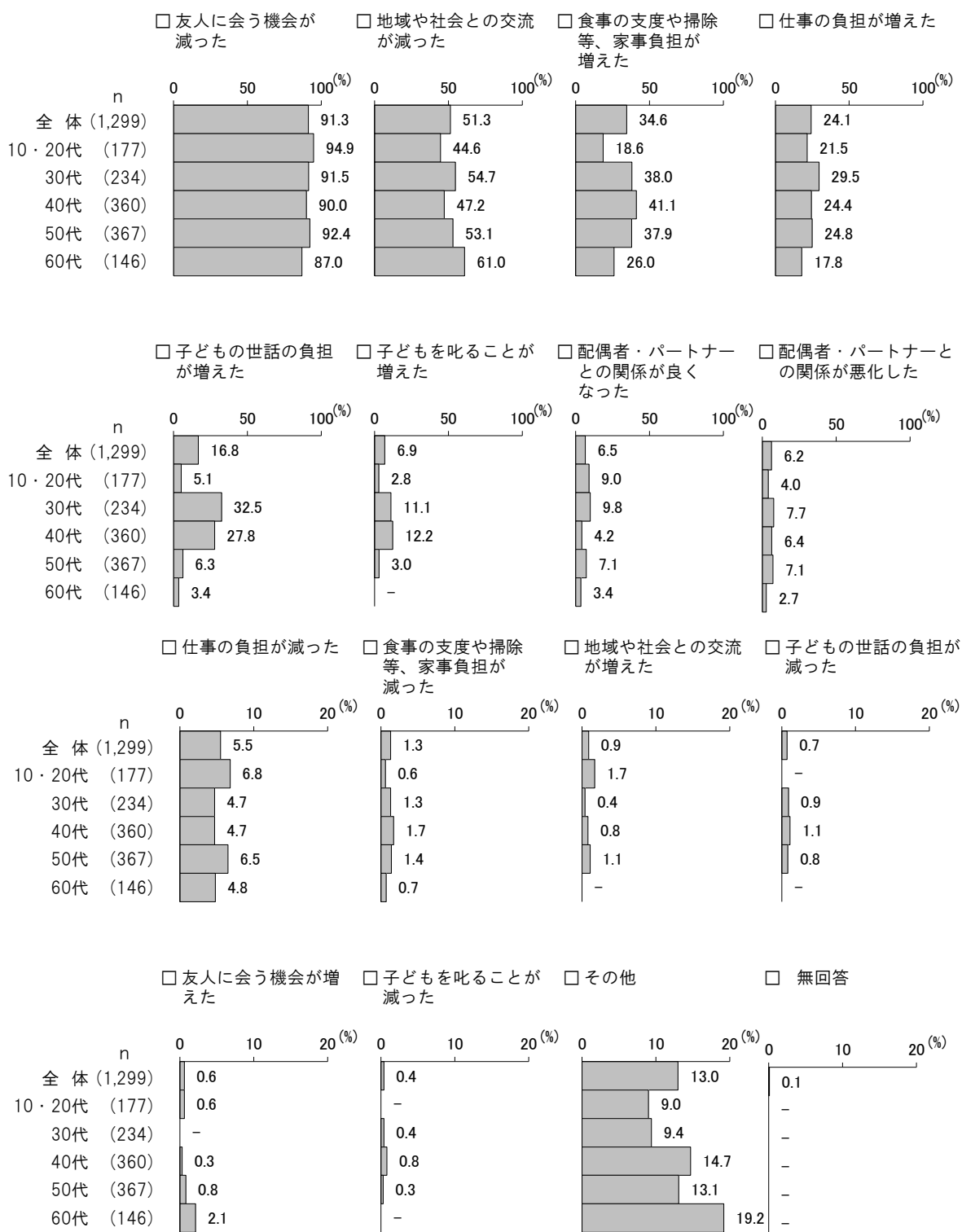
問4-1 どのような変化がありましたか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

図表 感染症拡大後の生活や行動の変化の内容（全体）



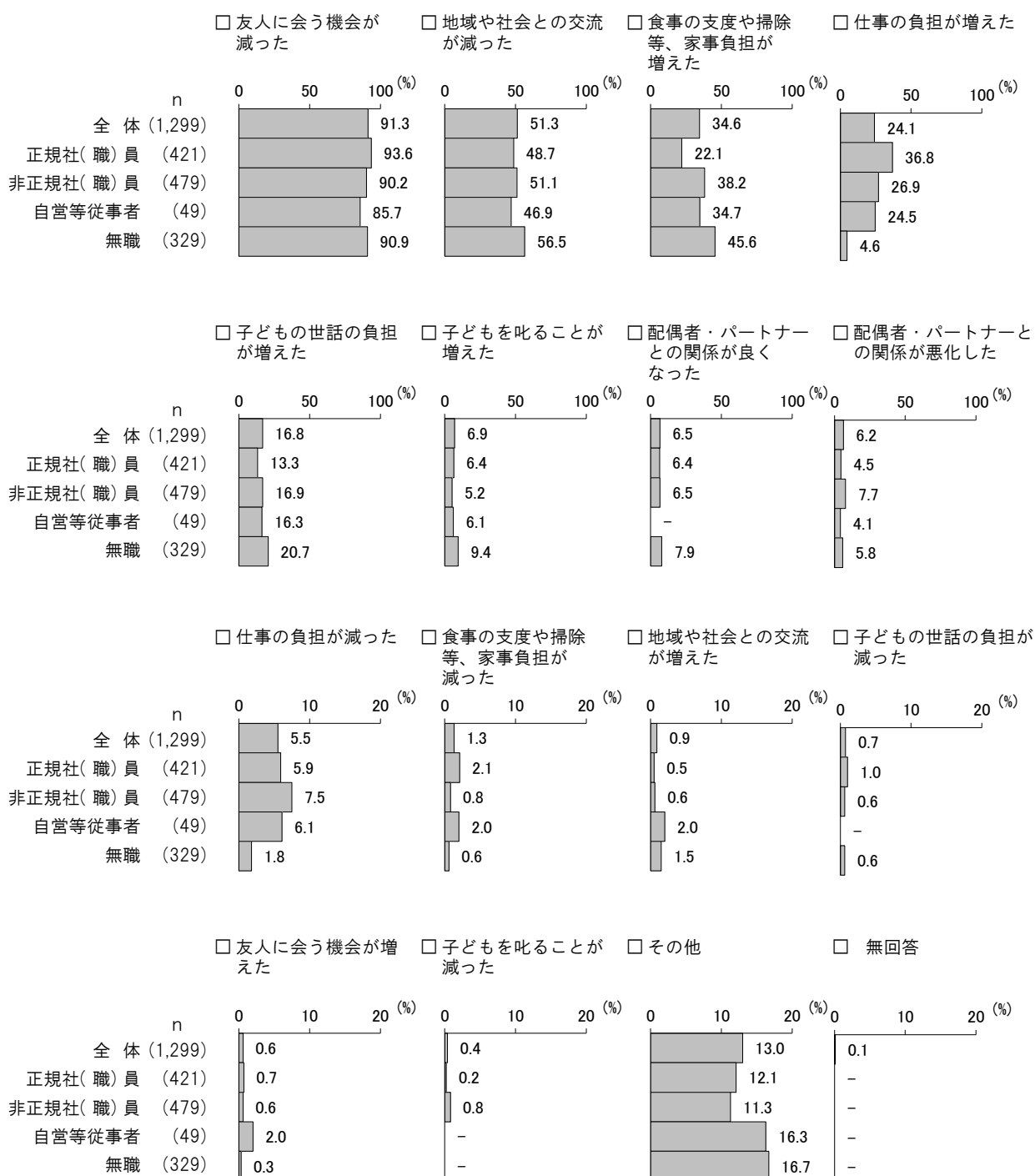
感染症拡大後の生活や行動の変化の内容は、「友人に会う機会が減った」が91.3%と最も高く、「地域や社会との交流が減った」(51.3%)、「食事の支度や掃除等、家事負担が増えた」(34.6%)と続いている。

図表 感染症拡大後の生活や行動の変化の内容（年代別）



年代別でみると、「友人に会う機会が減った」は、10・20代(94.9%)で9割台半ばと最も高く、60代を除くすべての年代で9割以上と高い傾向がある。「地域や社会との交流が減った」は、60代(61.0%)で約6割と最も高く、おおむね年齢が上がるにつれ高くなる傾向がある。「子どもの世話の負担が増えた」は、30代で32.5%と高くなっている。

図表 感染症拡大後の生活や行動の変化の内容（職業別）



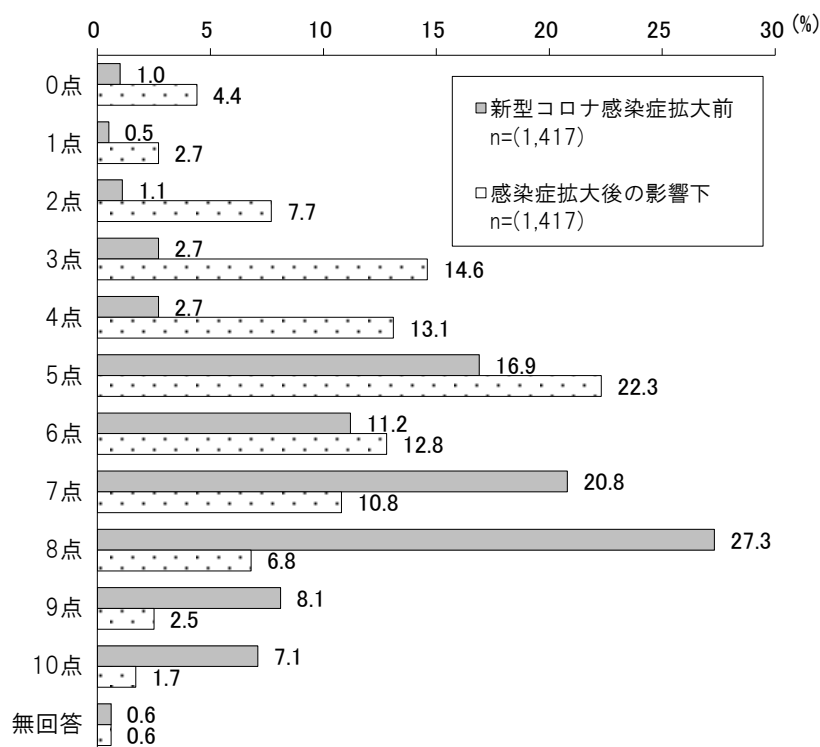
職業別でみると、「友人に会う機会が減った」は、〈正規社(職)員〉(93.6%)で9割強と最も高く、〈自営等従事者〉を除くすべての職業で9割以上と高い傾向がある。「地域や社会との交流が減った」はすべての職業で5割前後と高い。「食事の支度や掃除等、家事の負担が増えた」は、〈無職〉が45.6%と最も高く、〈非正規社(職)員〉(38.2%)が4割弱で続いている。「仕事の負担が増えた」は、〈正規社(職)員〉が36.8%で最も高くなっている。

4. 心身の影響について

(1) 感染症拡大前と影響下での生活満足度と満足度

問5 あなたの生活満足度は、「全く満足していない」を0点、「非常に満足している」を10点とすると、①新型コロナウイルス感染症拡大前、②感染症の影響下、それぞれ何点くらいになるとお考えですか。あてはまる点数を1つ選んで○をつけてください。

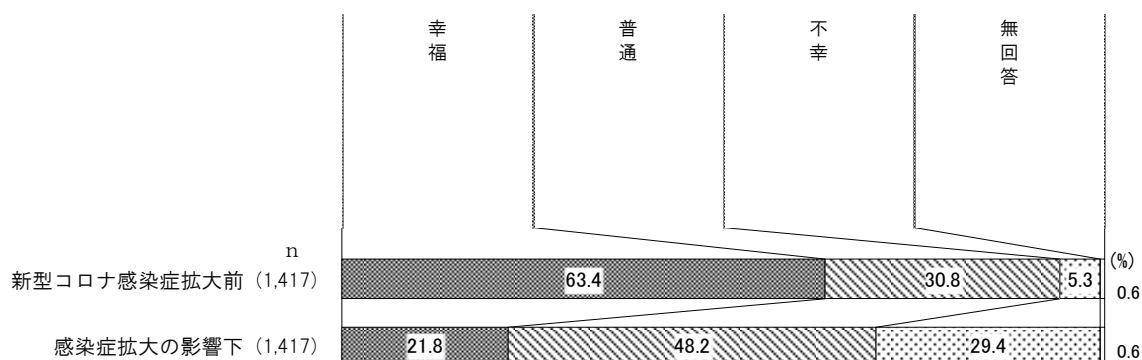
図表 感染症拡大前と感染症拡大影響下での生活満足度（全体）



新型コロナウイルス感染症拡大前では、「8点」が27.3%と最も高く、次いで「7点」が20.8%と高くなっている。一方、感染症拡大の影響下では「5点」が22.3%と最も高く、次いで、「3点」が14.6%と高くなっている。平均点は感染症拡大前では6.9点、感染症拡大の影響下では4.8点と2.1ポイント低くなっている。

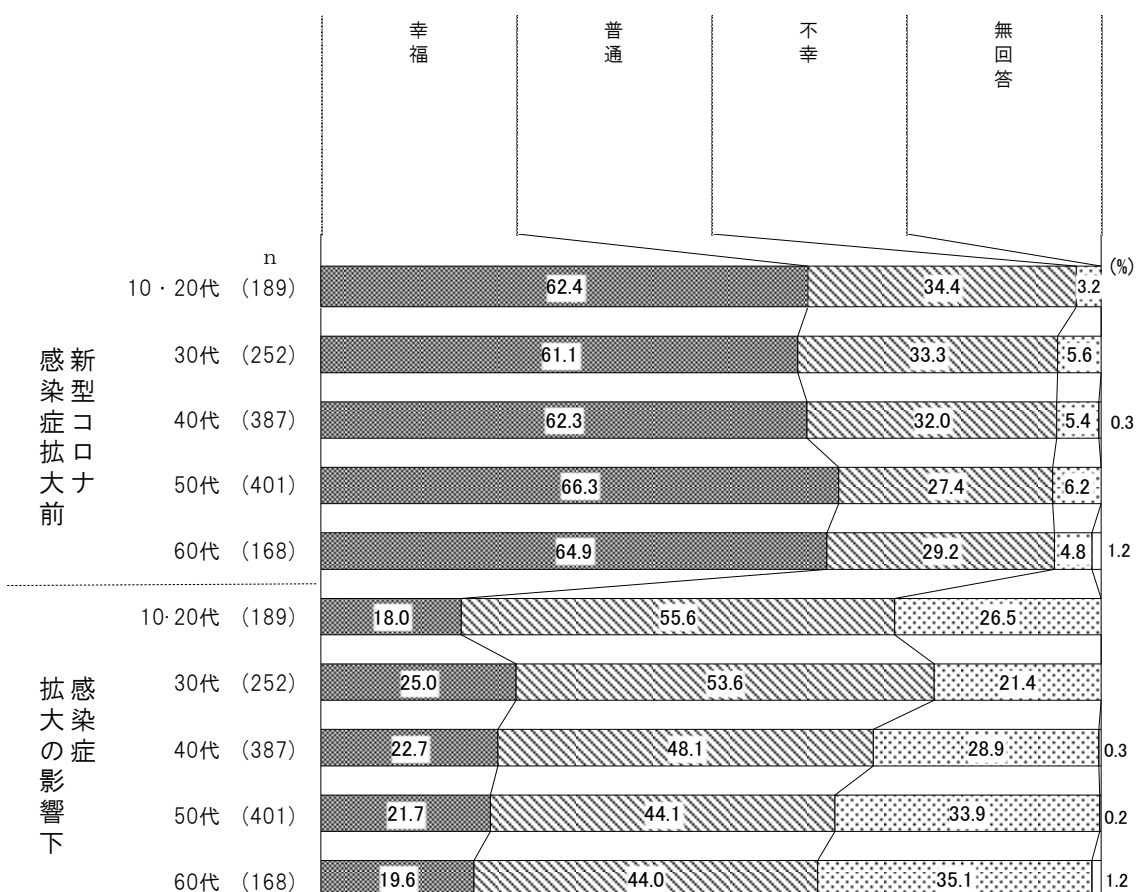
※以下の分析では、個別の幸福度の点数のほか、10～7点と回答した人を「幸福」、6～4点と回答した人を「普通」、3点以下で回答した人を「不幸」と分類して分析を進めます。

図表 感染症拡大前と感染症拡大影響下での生活満足度（全体）



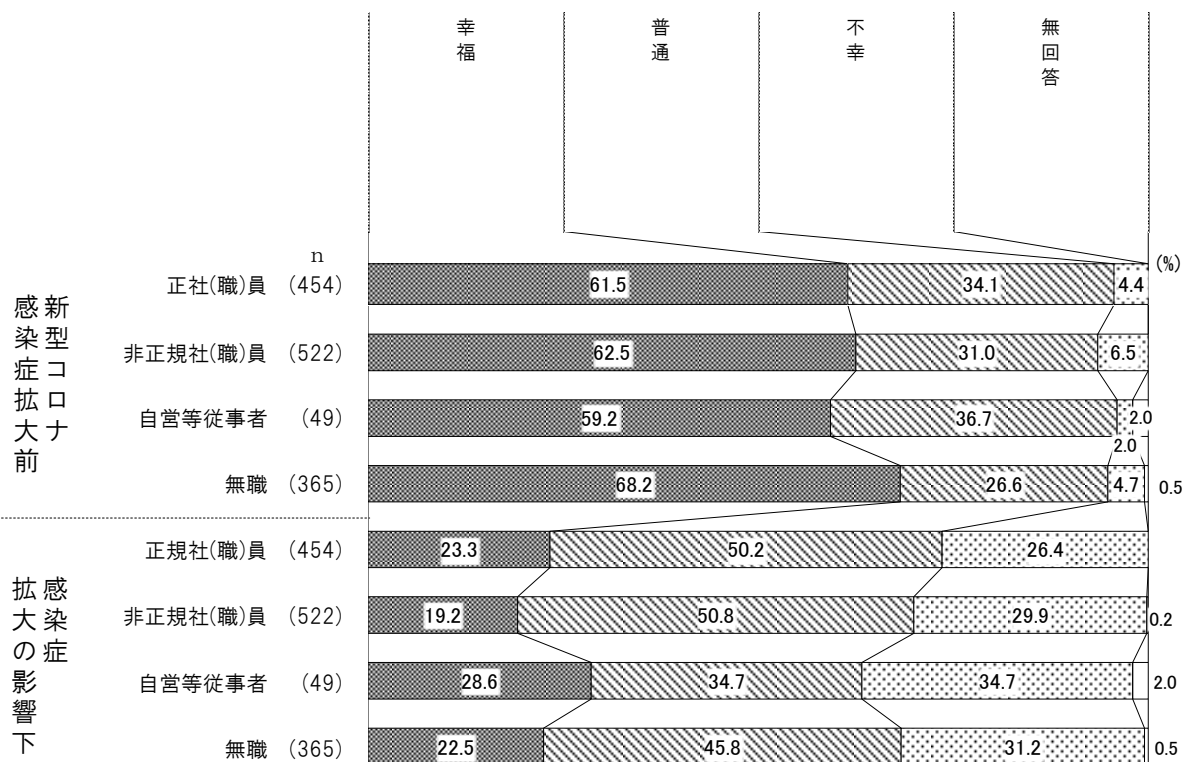
新型コロナウイルス感染症拡大前と比較すると、「幸福」は、〈感染症拡大前〉は63.4%、〈感染症拡大の影響下〉は21.8%と、拡大前よりも41.6ポイント少なくなっている。

図表 感染症拡大前と感染症拡大影響下での生活満足度（年代別）



年代別で見ると、「幸福」は、感染症拡大前では50代で66.3%と最も高く、感染症拡大の影響下では30代が25.0%と最も高い。60代では感染症拡大前の64.9%から感染症拡大の影響下の19.6%と45.3ポイント減少し、その差は他の年代と比較して最も高くなっている。

図表 感染症拡大前と感染症拡大影響下での生活満足度（職業別）

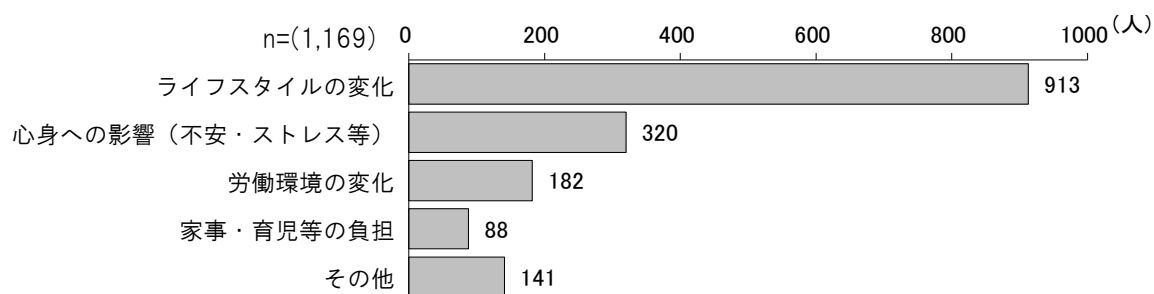


職業別でみると、「幸福」は、感染症拡大前では〈無職〉で68.2%と最も高く、感染症拡大の影響下では〈自営等従業者〉が28.6%と最も高い。〈無職〉では感染症拡大前の68.2%から感染症拡大の影響下の22.5%と45.7ポイント減少し、その差は他の年代と比較して最も高くなっている。

(2) 生活満足度が変化した理由

問6 問5の生活満足度が変化した理由（または変化しなかった理由）を教えてください。

図表 生活満足度が変化した理由（または変化しなかった理由）（全体）

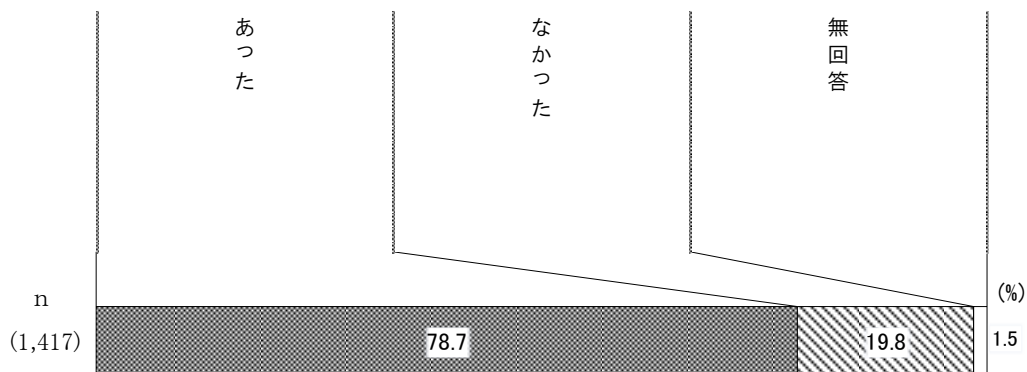


生活満足度が変化した理由については、1169名から延べ1644件の記述回答があった。その内容分類別の件数は上記のとおりである。

(3) 感染症拡大下での心身の変化

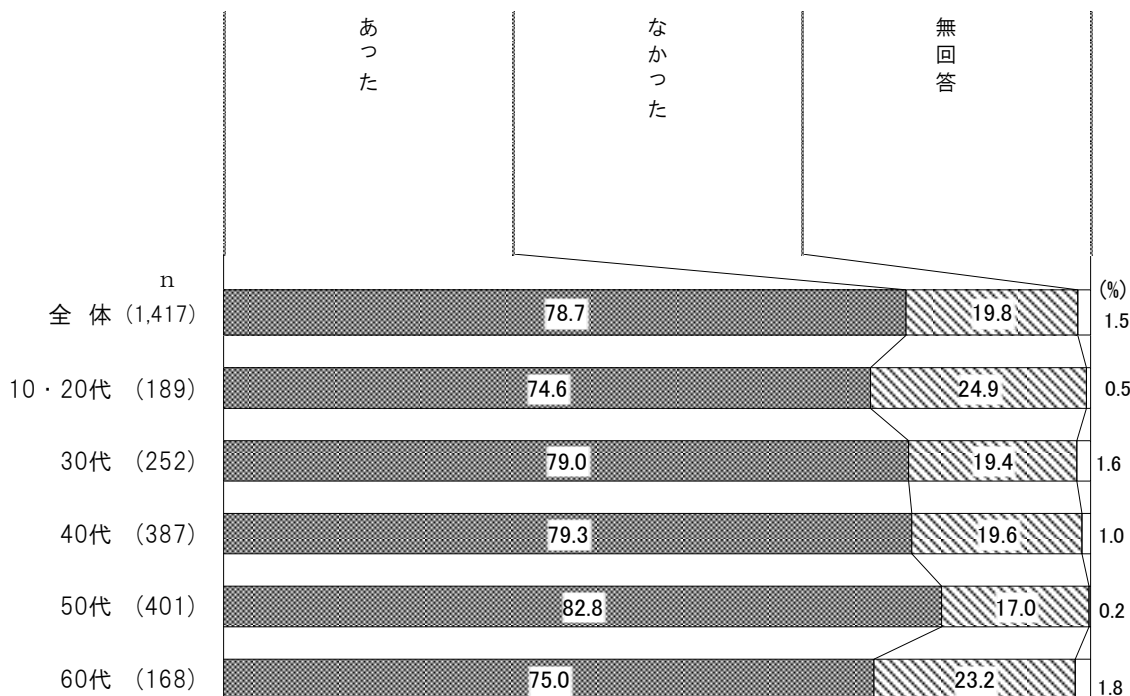
問7 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、あなたの心身に変化はありましたか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

図表 感染症拡大下での心身の変化（全体）



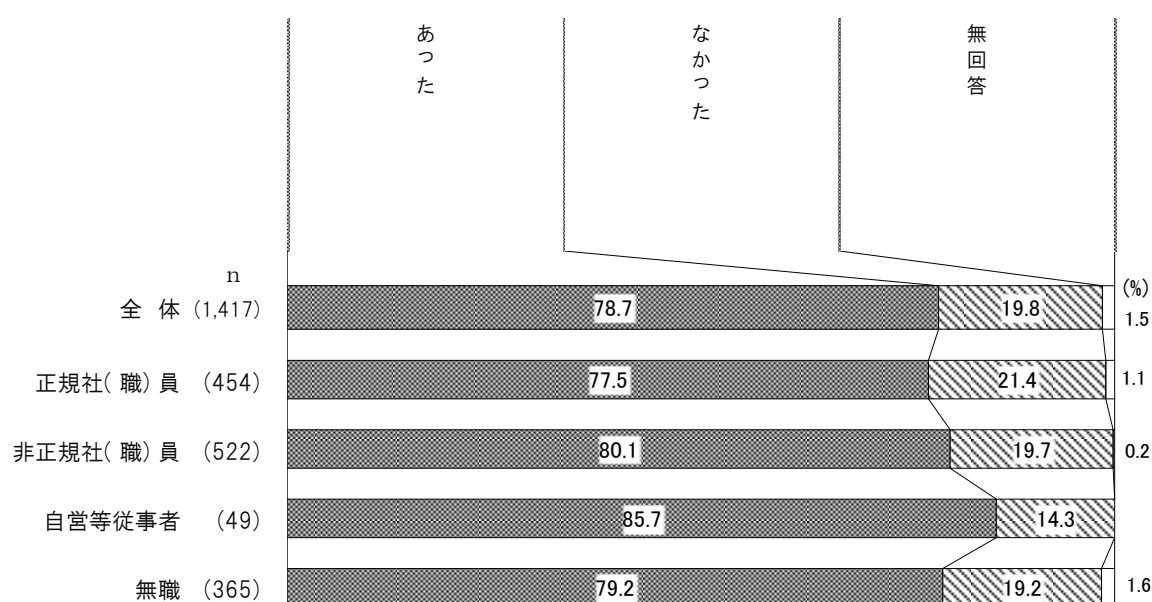
感染症拡大下での心身の変化は、「あった」が78.7%、「なかった」が19.8%となっている。

図表 感染症拡大下での心身の変化（年代別）



年代別で見ると、「あった」は、50代(82.8%)で8割強と最も高く、30・40代も約8割と高くなっている。「なかった」は、10・20代が24.9%と最も高く、60代が23.2%で続いている。

図表 感染症拡大下での心身の変化（職業別）

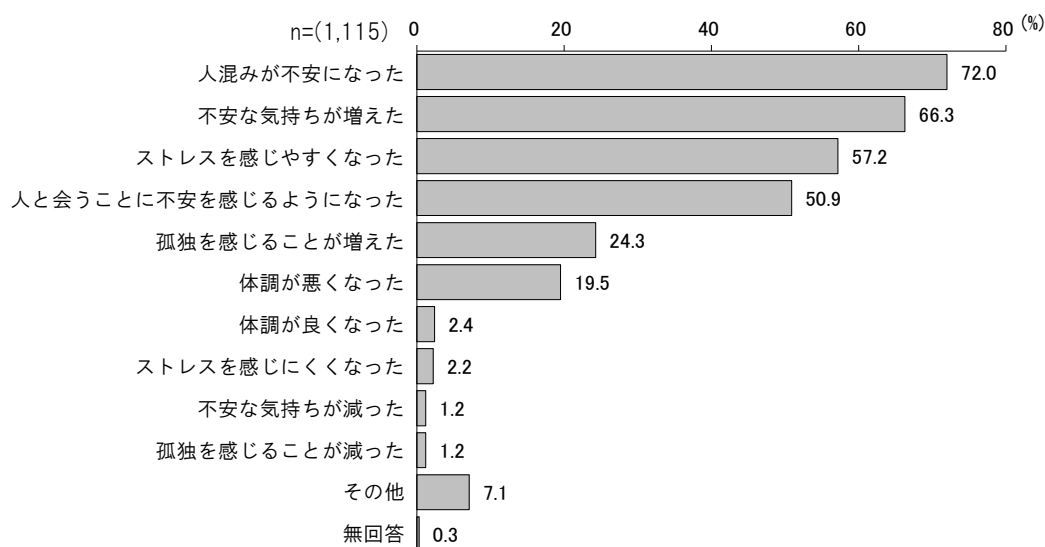


職業別でみると、「あった」は、〈自営等従事者〉(85.7%)で8割台半ばと最も高く、〈非正規社(職)員〉(80.1%)でも8割と高くなっている。「なかった」は、〈正規社(職)員〉(21.4%)が2割を超えて最も高くなっている。

(4) 感染症拡大下での心身の変化の内容

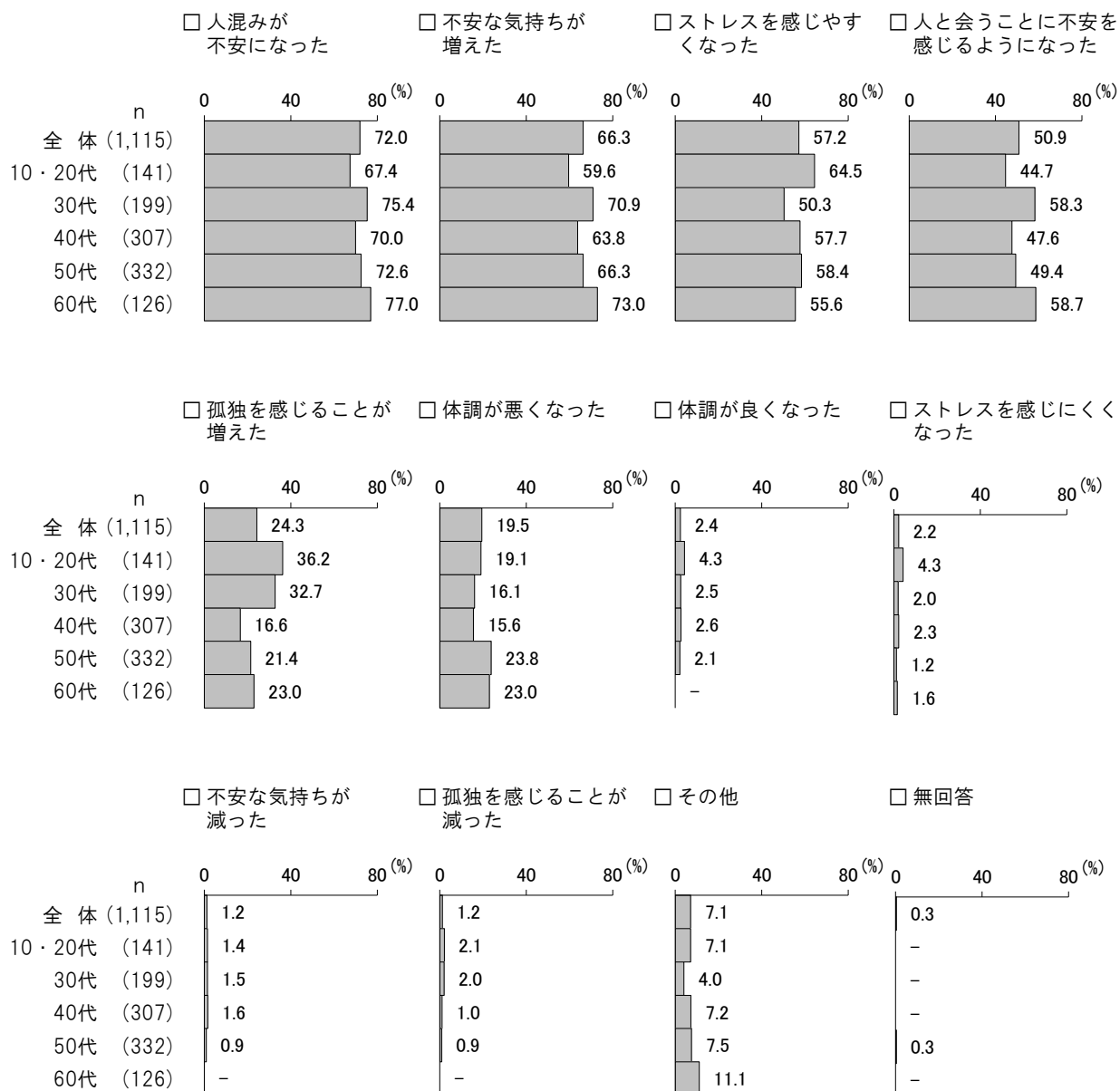
問7で「1. あった」と回答された方におたずねいたします。
 問7-1 どのような変化がありましたか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

図表 感染症拡大下での心身の変化の内容（全体）



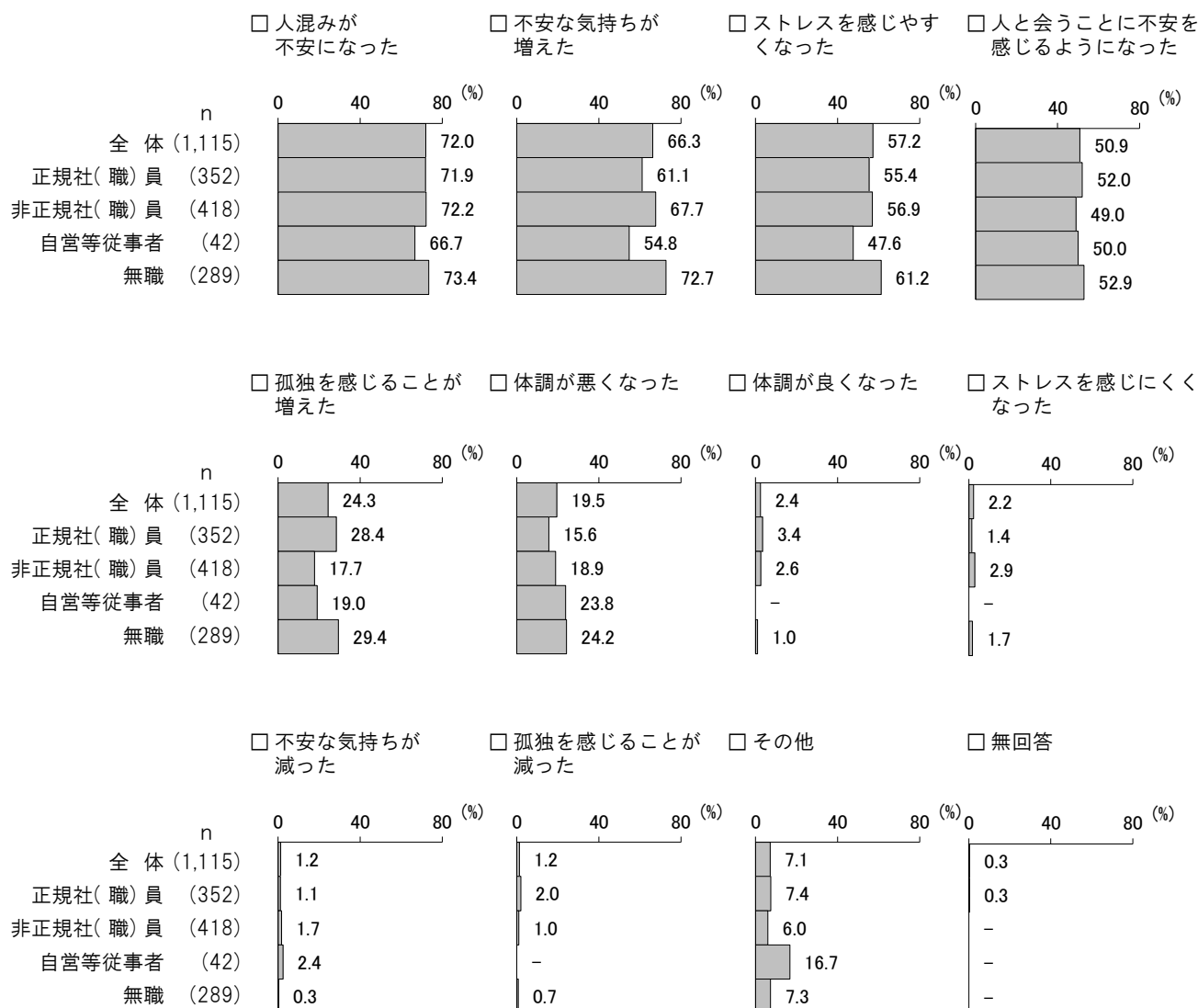
感染症拡大下での心身の変化の内容は、「人混みが不安になった」が72.0%と最も高く、以下、「不安な気持ちが増えた」(66.3%)、「ストレスを感じやすくなった」(57.2%)、「人と会うことに不安を感じるようになった」(50.9%)と続いている。

図表 感染症拡大下の心身の変化の内容（年代別）



年代別で見ると、「人混みが不安になった」、「不安な気持ちが増えた」、「人と会うことに不安を感じるようになった」は、30代と60代でそれぞれ高い傾向がみられる。「ストレスを感じやすくなった」は、10・20代で64.5%と最も高くなっている。

図表 感染症拡大下の心身の変化の内容（職業別）



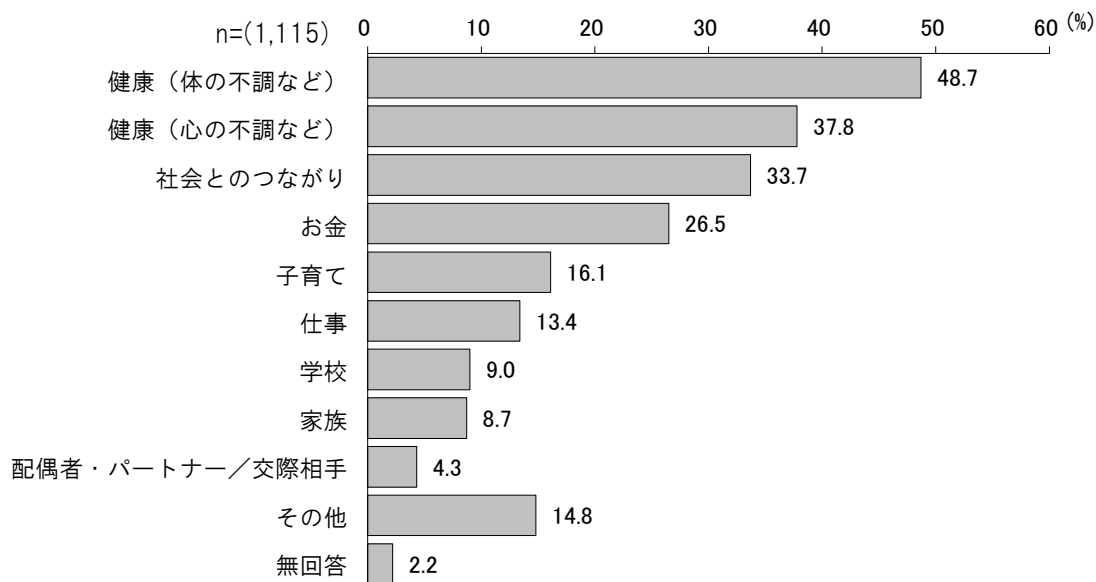
職業別でみると、「人混みが不安になった」は、〈自営等従業者〉を除くすべての職業で7割以上と高くなっている。「不安な気持ちが増えた」、「ストレスを感じやすくなった」、「人と会うことに不安を感じるようになった」、「孤独を感じるが増えた」、「体調が悪くなった」では、それぞれ〈無職〉が最も高くなっている。「孤独を感じるが増えた」では、〈無職〉のほか〈正規社(職)員〉も28.4%と高い。

(5) 感染症拡大下での不安やストレスの内容

同様に、問7で「1. あった」と回答された方におたずねいたします。

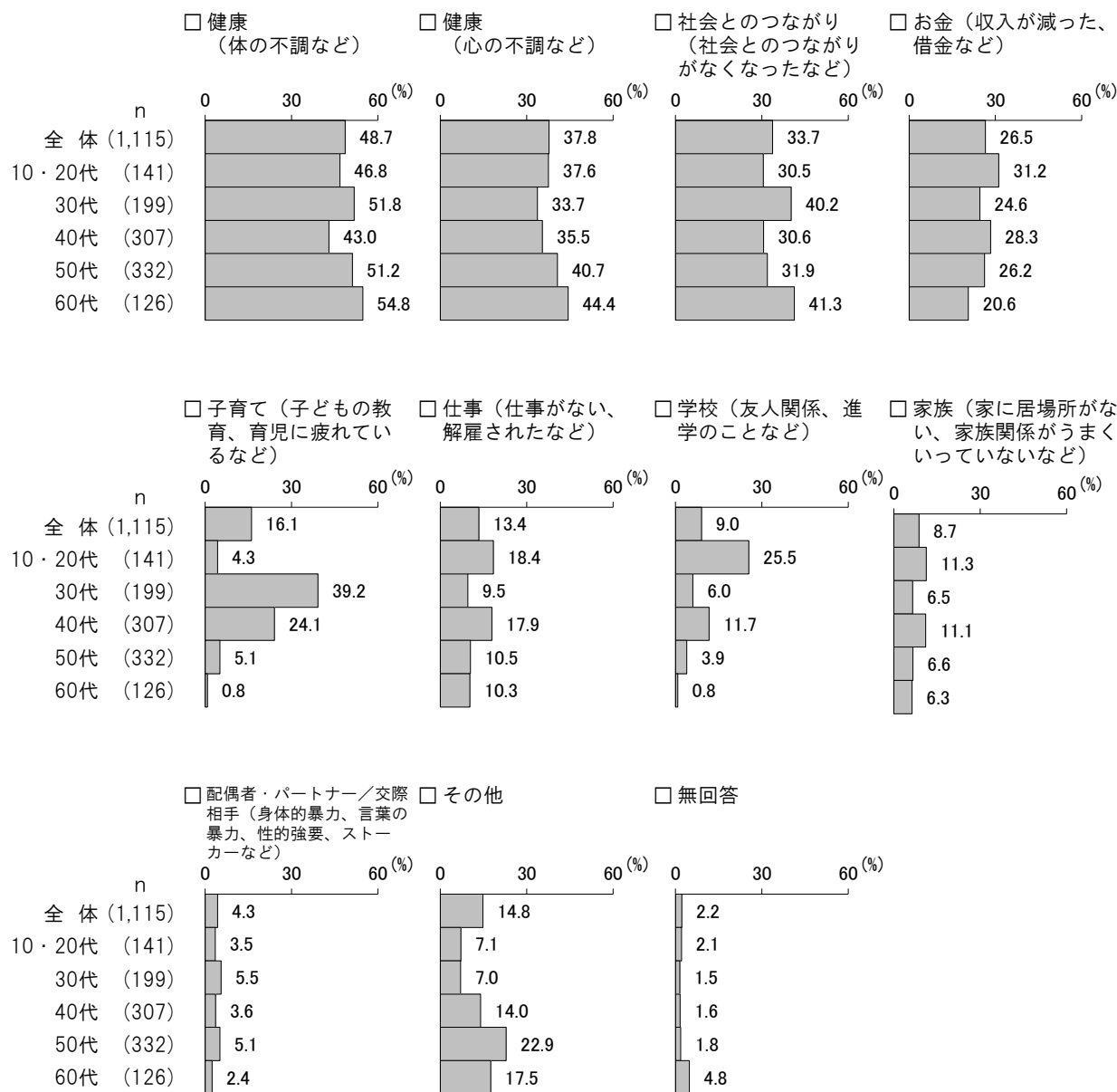
問7-2 新型コロナウイルス感染症拡大の影響などで不安やストレスを感じていることは何ですか？あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

図表 感染症拡大影響下で不安やストレスに感じていること（全体）



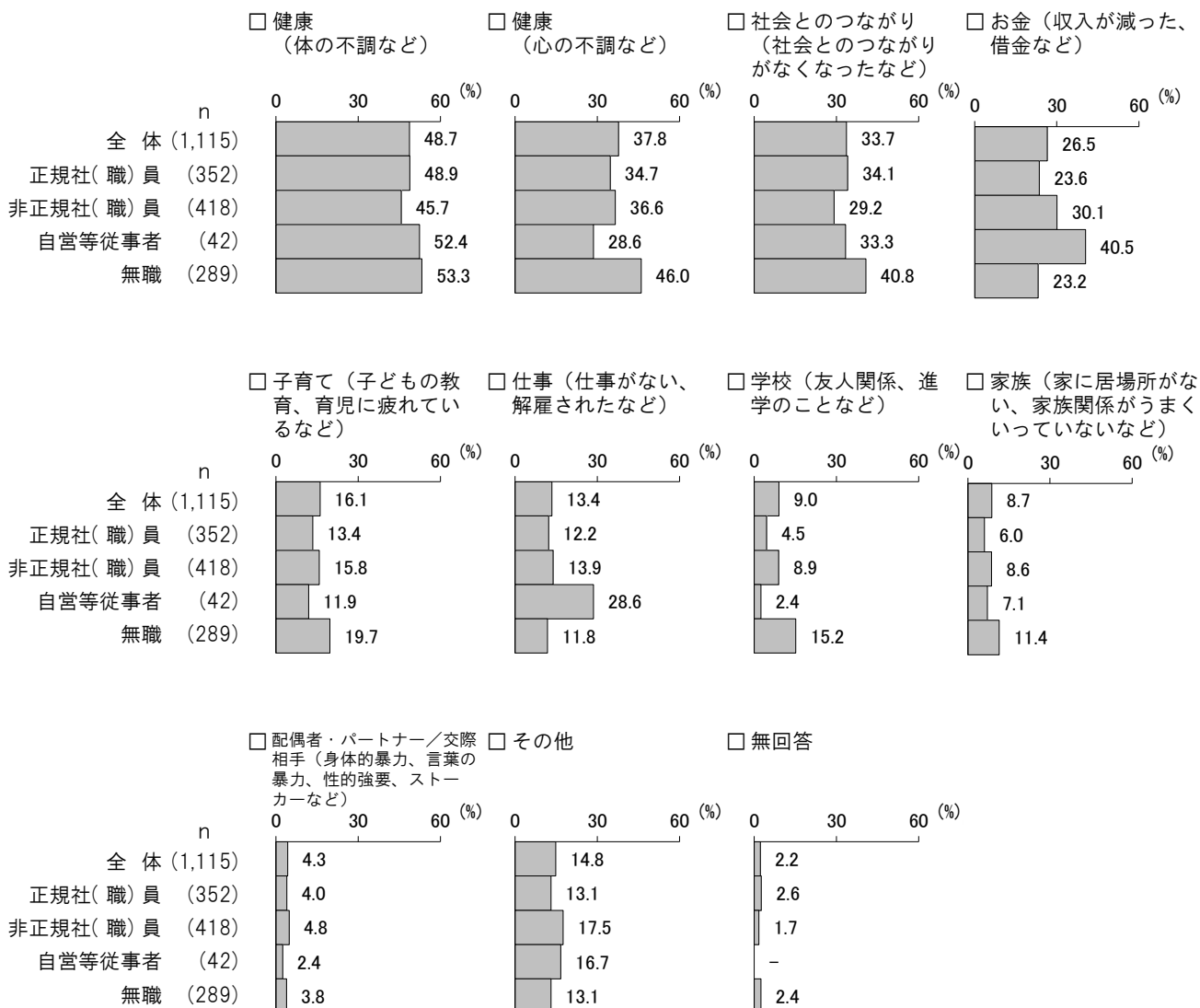
感染症拡大下で不安やストレスに感じていることは、「健康（体の不調など）」が48.7%と最も高く、以下、「健康（心の不調など）」(37.8%)、「社会とのつながり（社会とのつながりがなくなったなど）」(33.7%)、「お金（収入が減った、借金など）」(26.5%)と続いている。

図表 感染症拡大下で不安やストレスに感じていること（年代別）



年代別で見ると、「健康(体の不調など)」、「健康(心の不調)」、「社会とのつながり(社会とのつながりがなくなったなど)」は、それぞれ60代が最も高くなっている。「お金(収入が減った、借金など)」は、10・20代が31.2%と最も高い。「子育て(子どもの教育、育児に疲れるなど)」は、30代が39.2%と最も高い。

図表 感染症拡大下で不安やストレスに感じていること（職業別）



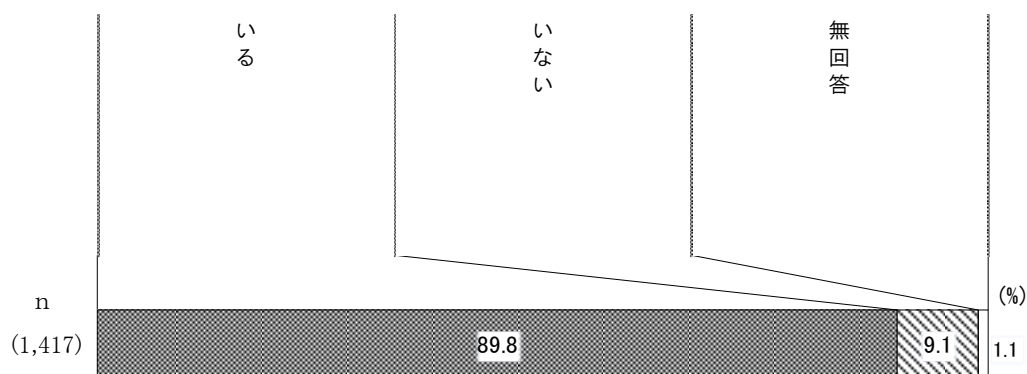
職業別でみると、「健康(体の不調など)」、「健康(心の不調)」、「社会とのつながり(社会とのつながりがなくなったなど)」は、それぞれ<無職>が最も高くなっている。「お金(収入が減った、借金など)」、「仕事(仕事がない、解雇されたなど)」は、<自営等従業者>が最も高い。

5. 孤独・孤立について

(1) 困りごとの相談先の有無

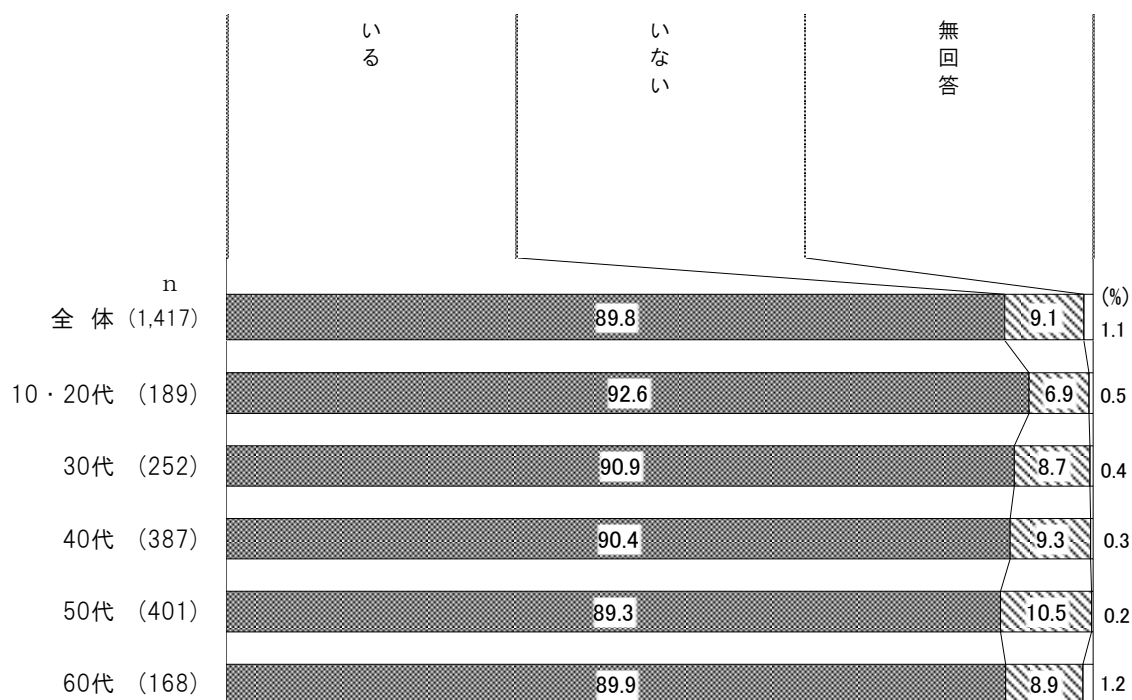
問8 あなたは、本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人（家族、友人、親戚、同僚など）がいますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

図表 困りごとの相談先の有無（全体）



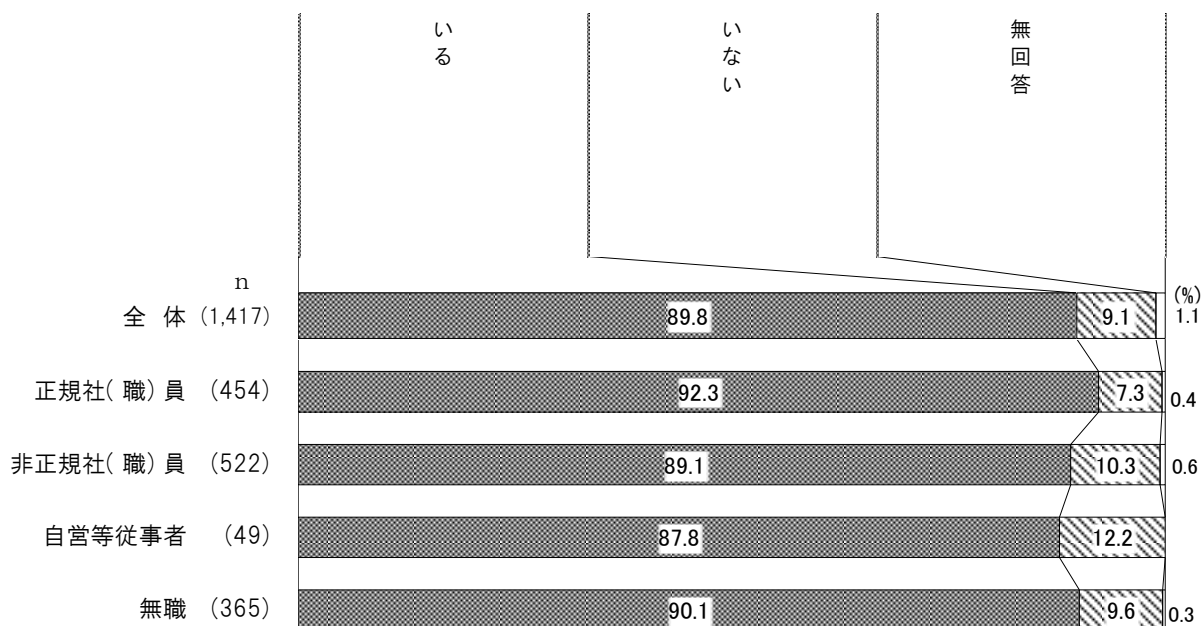
困りごとの相談先の有無は、「いる」が89.8%、「いない」が9.1%となっている。

図表 困りごとの相談先の有無（年代別）



年代別で見ると、「いる」は、10・20代(92.6%)で9割強と最も高く、40代以下では9割を超えている。一方、「いない」は50代(10.5%)が1割を超え最も高くなっている。

図表 困りごとの相談先の有無（職業別）



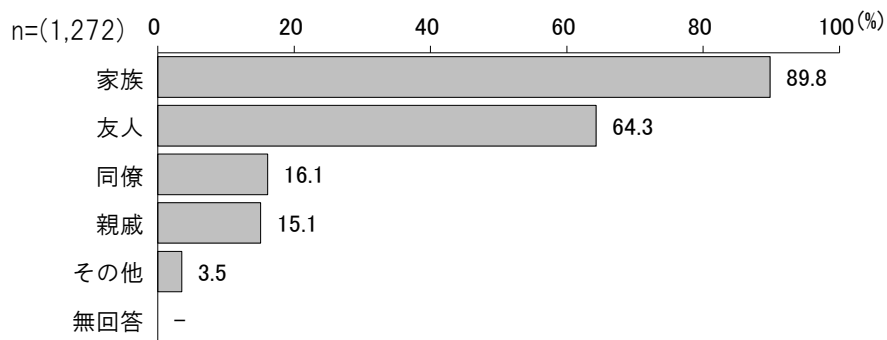
職業別で見ると、「いる」は、〈正規社(職)員〉(92.3%)で9割強と最も高くなっている。「いない」は、〈自営等従事者〉が12.2%と最も高い。

(2) 主な困りごとの相談先

問8で「1. いる」と回答された方におたずねいたします。

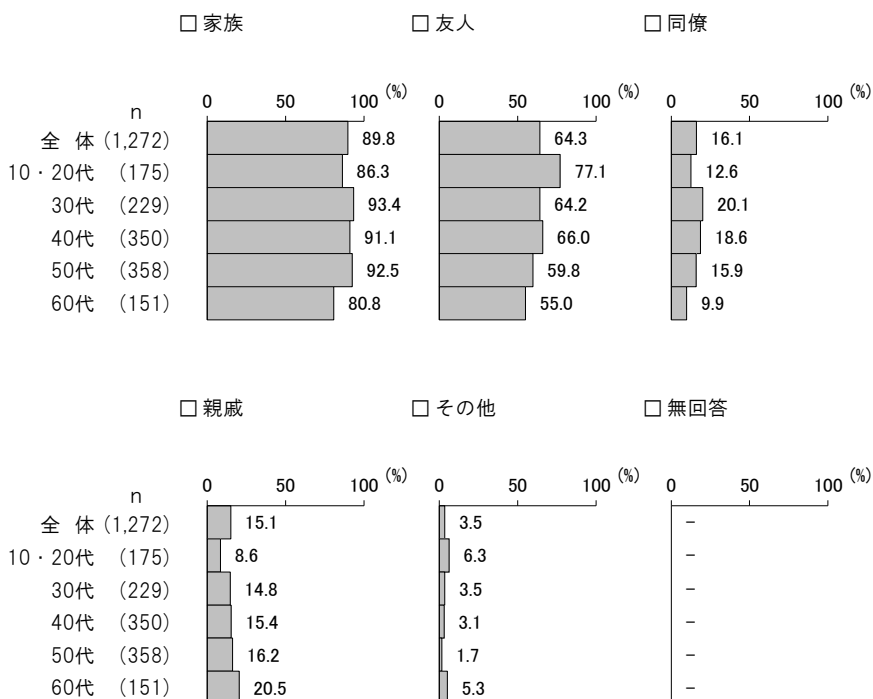
問8-1 どのような人に相談できますか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

図表 主な困りごとの相談先（全体）



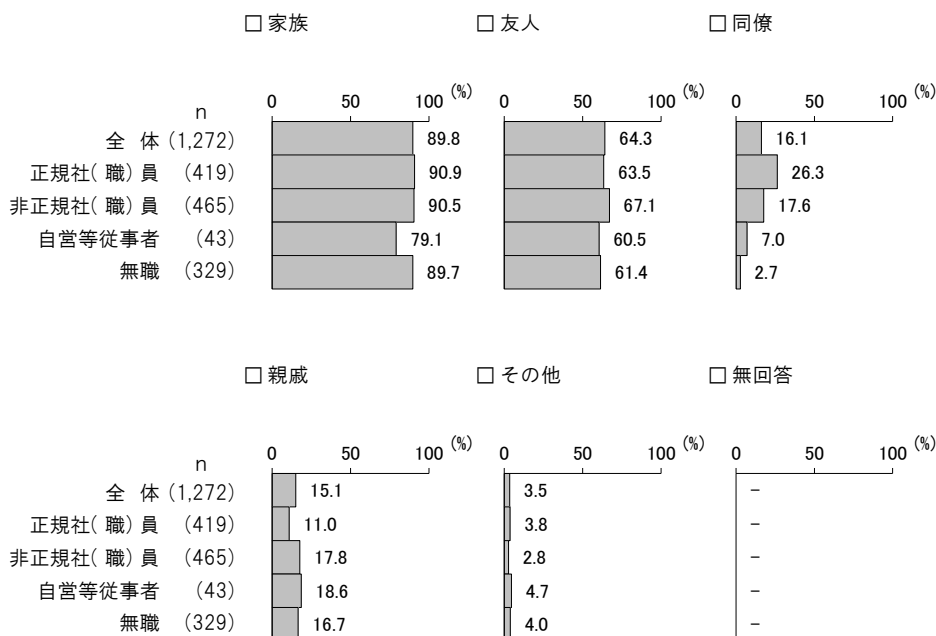
主な困りごと相談先は、「家族」が89.8%と最も高く、以下、「友人」(64.3%)、「同僚」(16.1%)、「親戚」(15.1%)と続いている。

図表 主な困りごとの相談先（年代別）



年代別で見ると、「家族」は、30代から50代で9割強と高くなっている。「友人」は10・20代(77.1%)では8割弱と高く、おおむね年代が上がるにつれて低い傾向がみられる。

図表 主な困りごとの相談先（職業別）

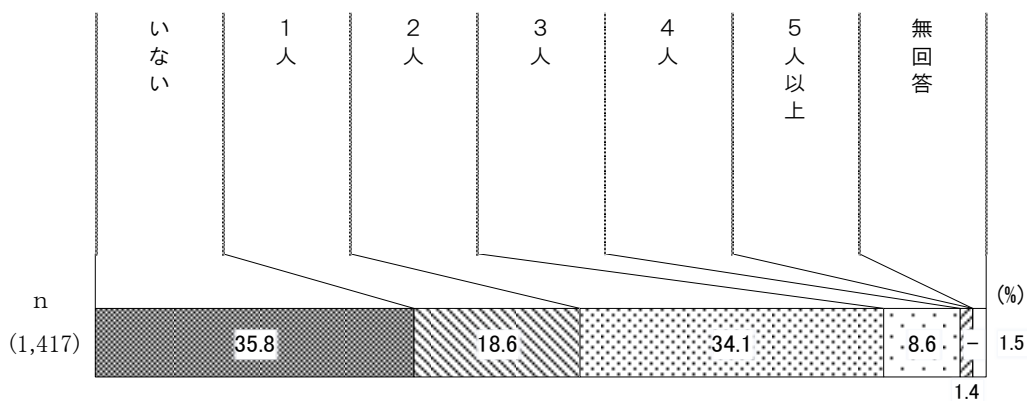


職業別で見ると、「家族」は、〈自営等従業者〉を除くすべての職業で約9割と高くなっている。「友人」は〈非正規(職)員〉(67.1%)で7割弱と高い。

(3) 子どもの有無・人数

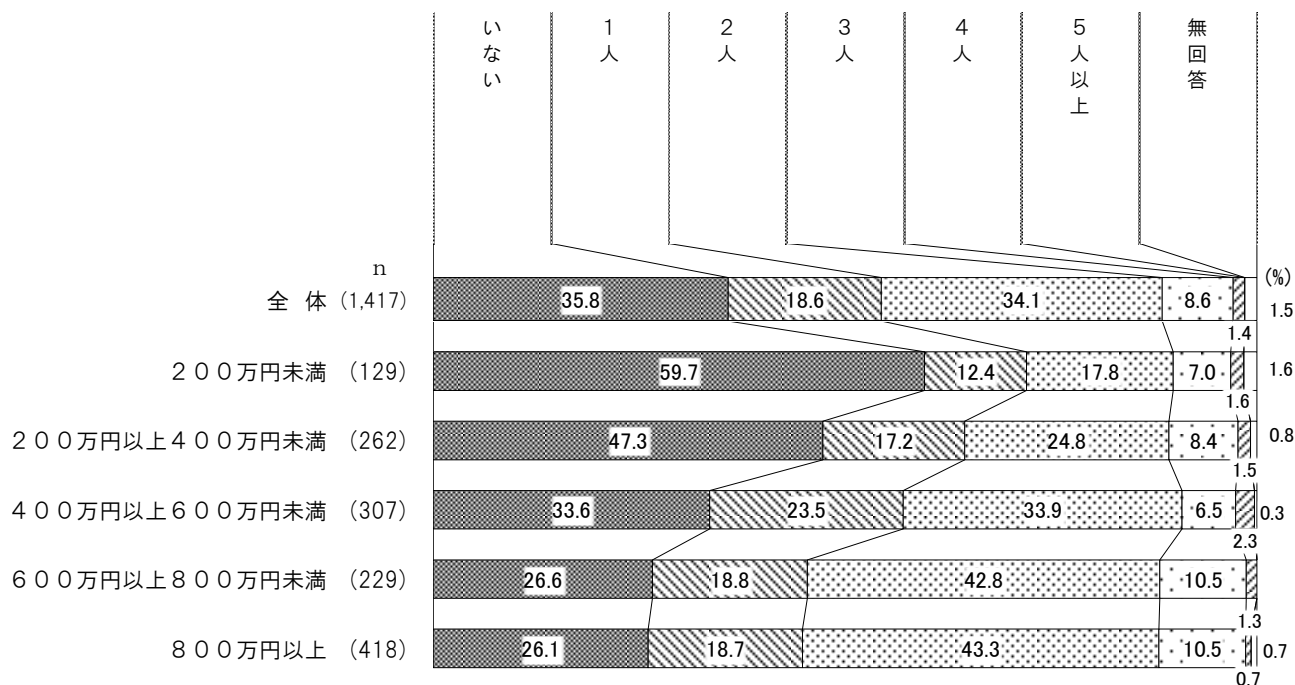
問9 あなたのお子さんは何人いらっしゃいますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。(同居・別居は問いません。また、亡くなった方は除いてください。)

図表 子どもの有無・人数 (全体)



回答者の子どもの有無・人数は、「いない」が35.8%と最も高く、以下、「2人」(34.1%)、「1人」(18.6%)、「3人」(8.6%)と続いている。

図表 子どもの有無・人数 (世帯年収別)



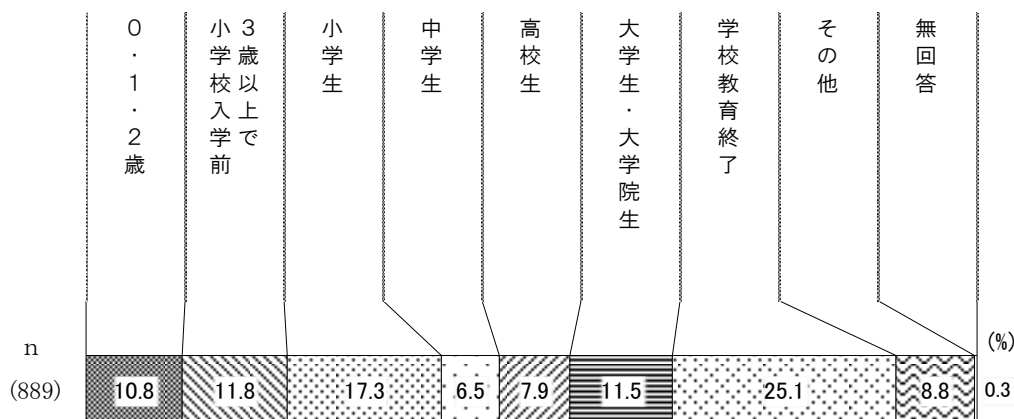
世帯年収別で見ると、「いない」は、〈200万円未満〉が59.7%で約6割と最も高く、世帯年収が低いほど高い傾向がみられる。「1人」は、〈400万円以上600万円未満〉が23.5%と最も高くなっている。「2人」は、800万円以上(43.3%)が4割強と最も高く、世帯年収が高くなるにつれ割合も高くなる傾向がみられる。

(4) 一番下の子どもの学齢

問9で2～6のお子さんがあると回答された方におたずねいたします。

問9-1 あなたの一番下のお子さんにあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

図表 一番下の子どもの学齢（全体）



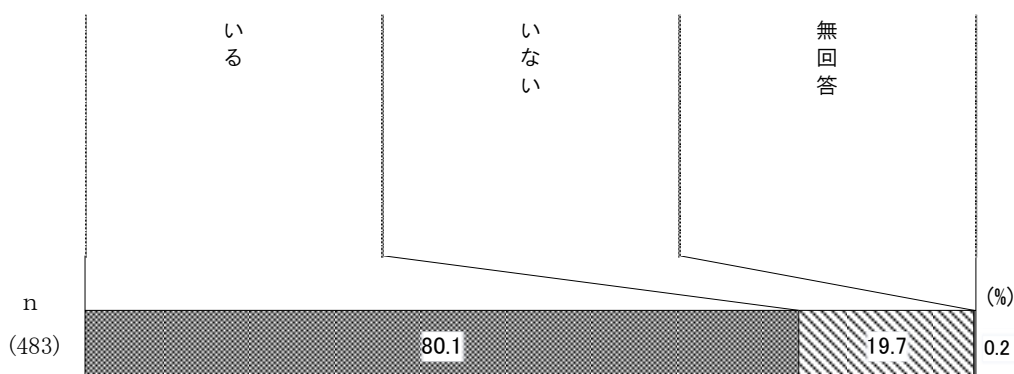
一番下の子どもの学齢は、「学校教育終了」が25.1%と最も高く、以下、「小学生」(17.3%)、「3歳以上で小学校入学前」(11.8%)、「大学生・大学院生」(11.5%)と続いている。

(5) 子育てに関する悩みの相談先の有無

問9-1で1～5のお子さんがあると回答された方におたずねいたします。

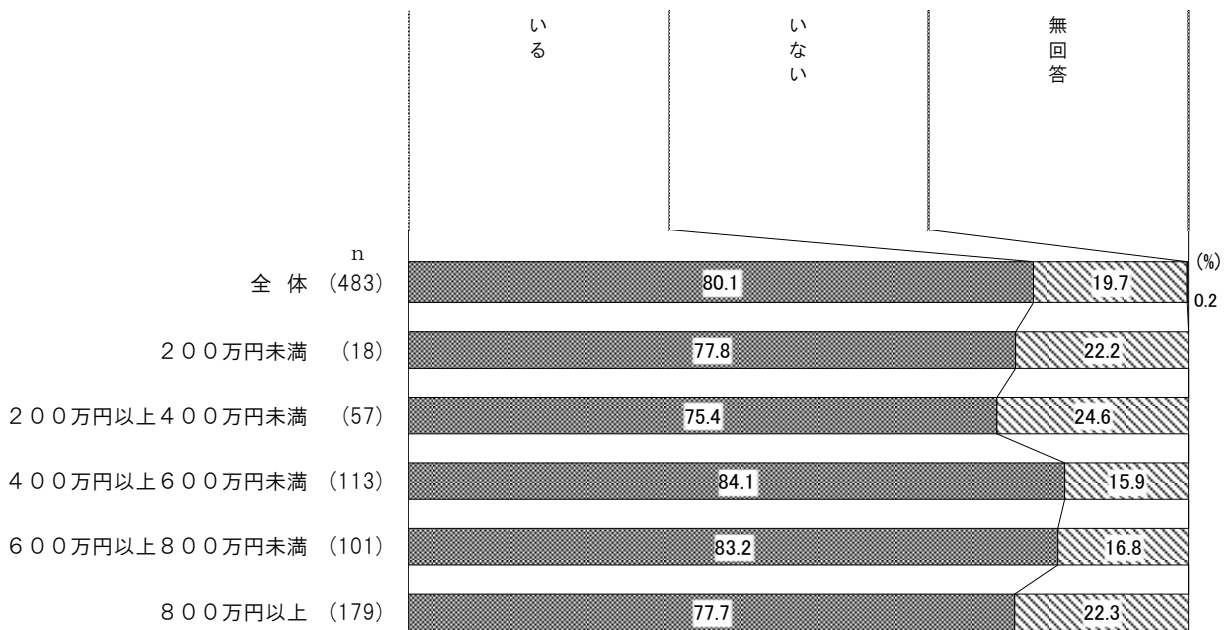
問10 あなたは、近隣に、子育てに関する悩みを打ち明けたり、相談したりすることができる人はいますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

図表 子育てに関する悩みの相談先の有無（全体）



子育てに関する悩みの相談先の有無は、「いる」が80.1%、「いない」が19.7%となっている。

図表 子育てに関する悩みの相談先の有無（世帯年収別）



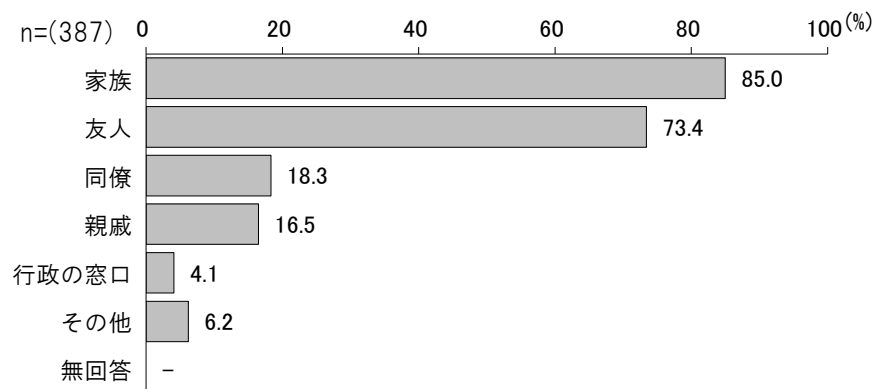
世帯年収別で見ると、「いる」が〈400万円以上800万円未満〉で8割を超えて最も高くなっている。「いない」は、〈200万円以上400万円未満〉で24.6%と最も高い。

(6) 子育てに関する悩みの主な相談先

問9で「1. いる」と回答された方におたずねいたします。

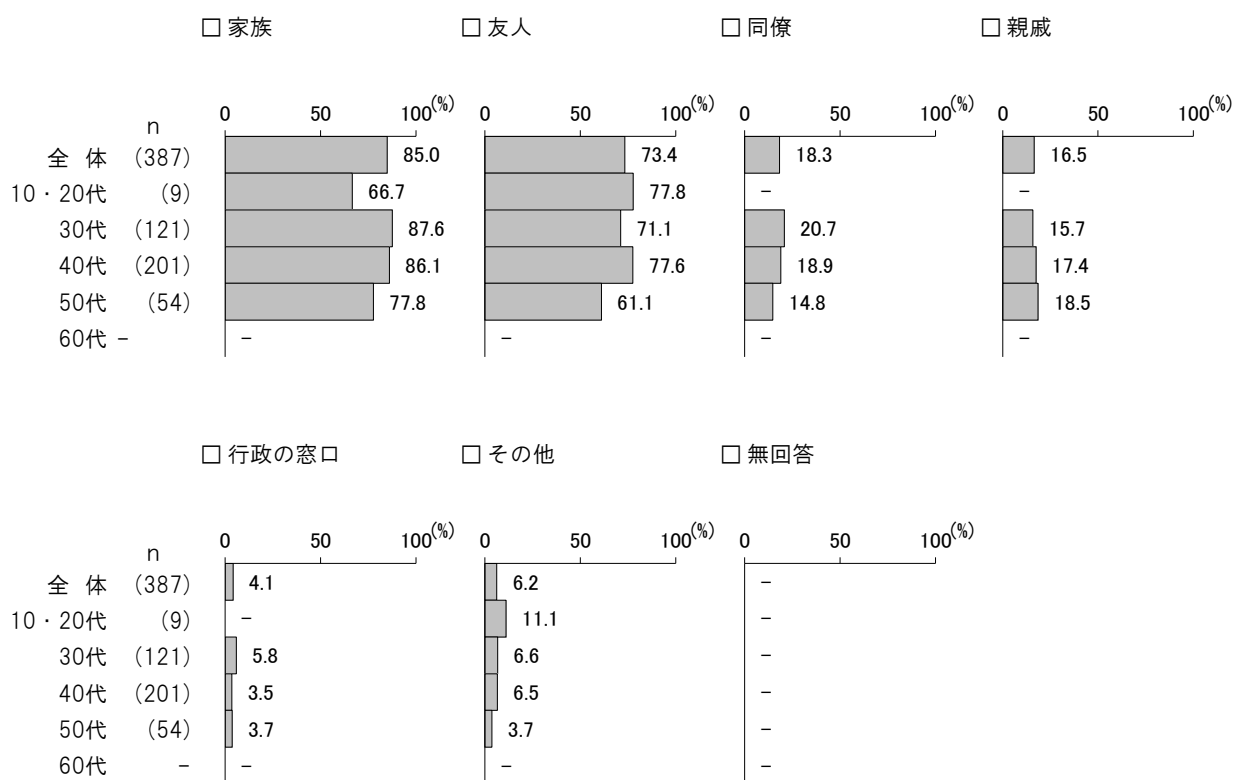
問10-1 どのような人に相談できますか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

図表 子育てに関する悩みの主な相談先（全体）



子育てに関する悩みの主な相談先は、「家族」が85.0%と最も高く、以下、「友人」(73.4%)、「同僚」(18.3%)、「親戚」(16.5%)と続いている。

図表 子育てに関する悩みの主な相談先（年代別）



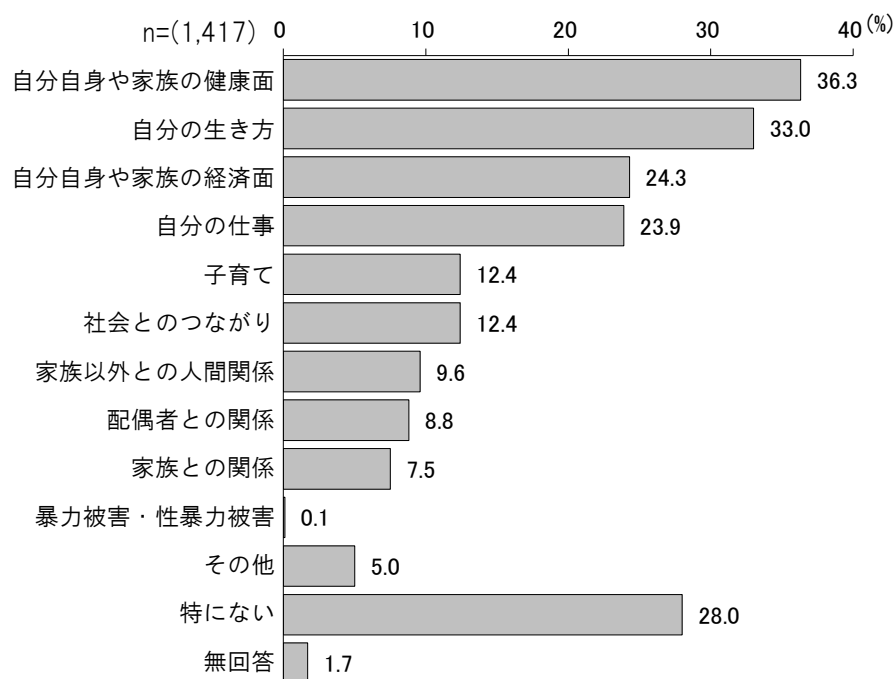
年代別で見ると、「家族」は、30代(87.6%)で9割弱と最も高くなっている。「友人」は、40代(77.6%)では8割弱と高くなっている。

6. 困っていること、必要な支援について

(1) 現在抱える困りごとの内容

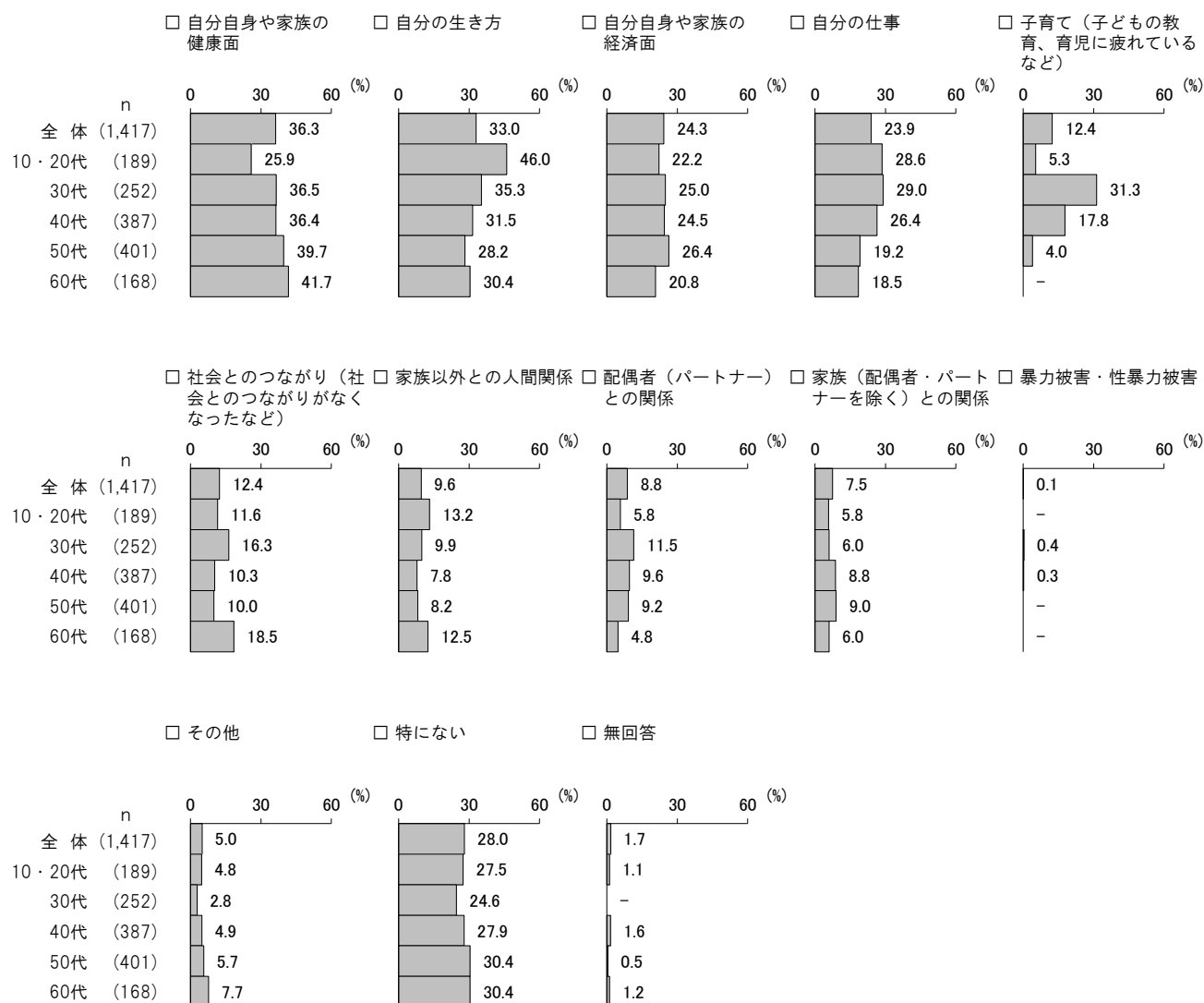
問11 あなたは、今どのようなことで困っていますか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

図表 現在抱える困りごとの内容（全体）



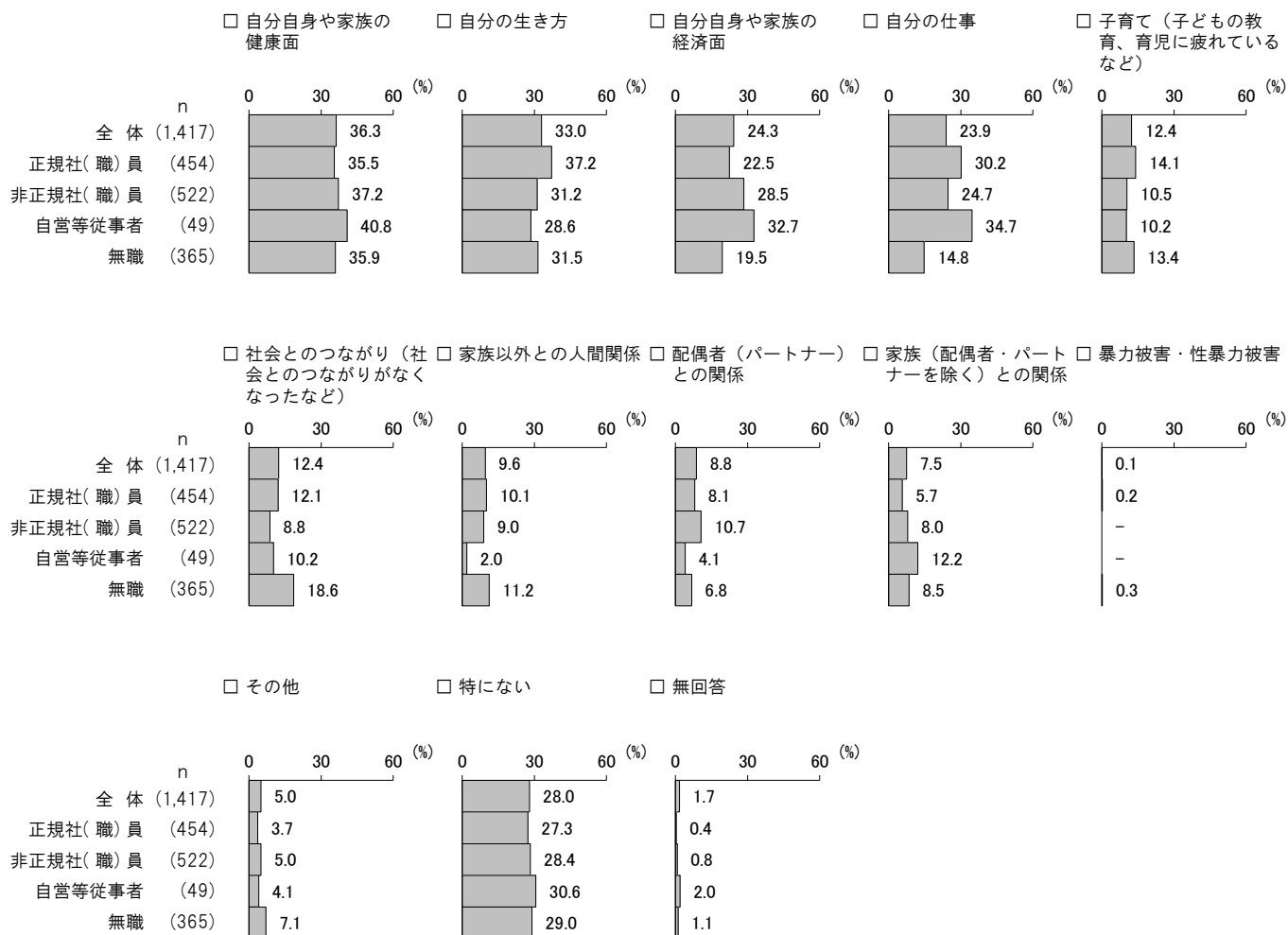
現在抱える困りごとの内容は、「自分自身や家族の健康面」が36.3%と最も高く、以下、「自分の生き方」(33.0%)、「自分自身や家族の経済面」(24.3%)、「自分の仕事」(23.9%)となっている。

図表 現在抱える困りごとの内容（年代別）



年代別でみると、「自分自身や家族の健康面」は、60代(41.7%)で4割強と最も高く、年代が上がるにつれて高くなる傾向がある。「自分の生き方」は10・20代(46.0%)で4割台半ばと高くなっている。「子育て(子どもの教育、育児に疲れているなど)」は、30代で31.3%と特に高い。

図表 現在抱える困りごとの内容（職業別）

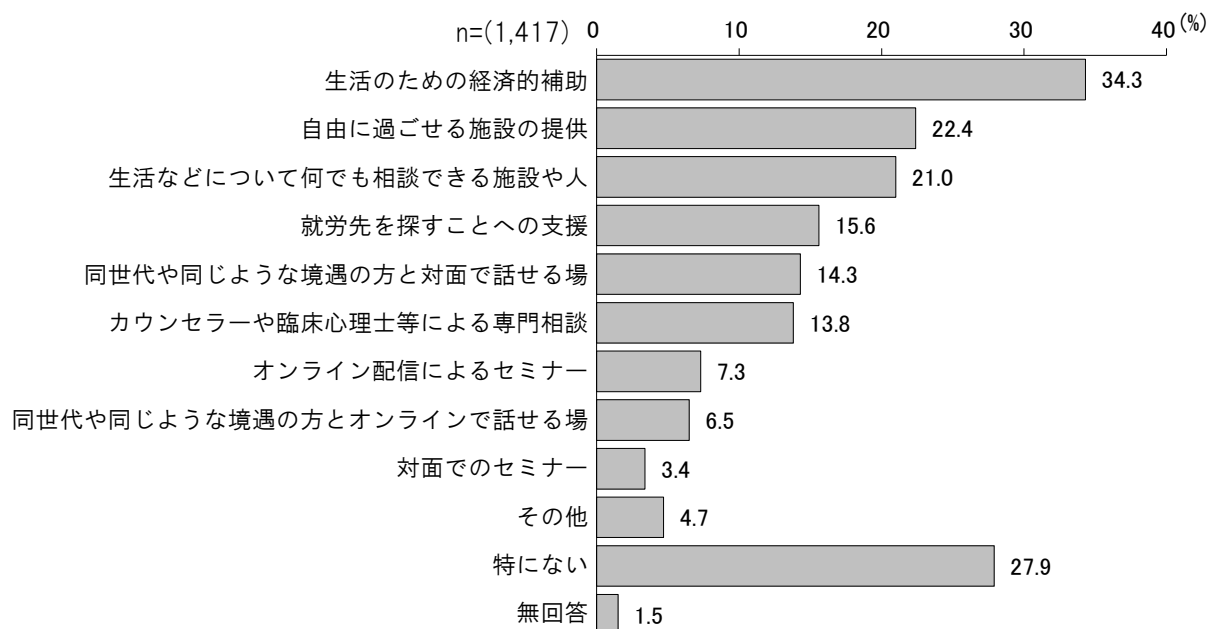


職業別でみると、〈自営業等従事者〉では、「自分自身や家族の健康面」、「自分自身や家族の経済面」、「自分の仕事」でそれぞれ最も高くなっている。「自分の生き方」は〈正規社(職)員〉(37.2%)で4割弱と最も高い。

(2) 今必要であると感じる支援

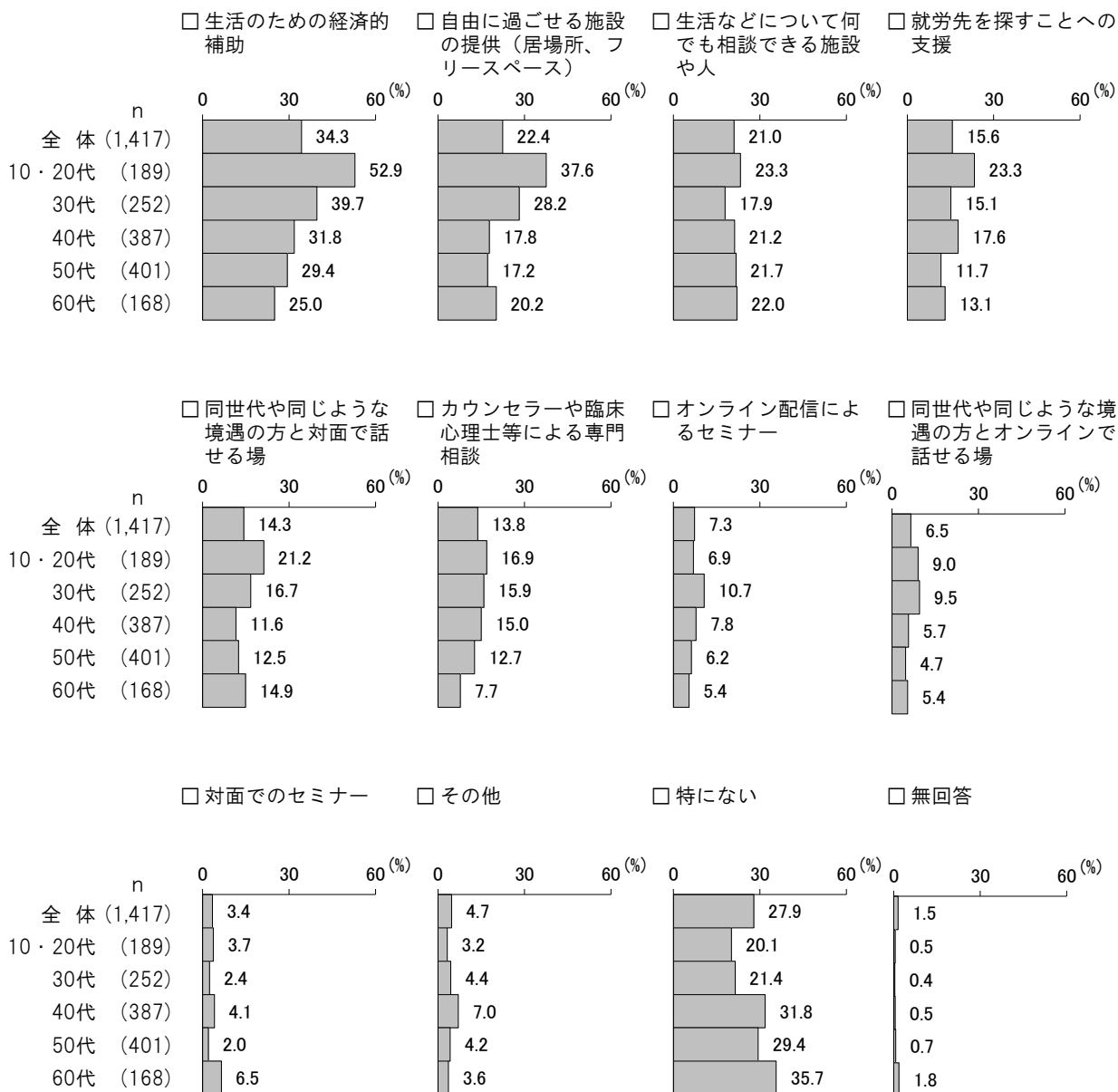
問12 あなたは、今どのような支援があると良いと思いますか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

図表 今必要であると感じる支援（全体）



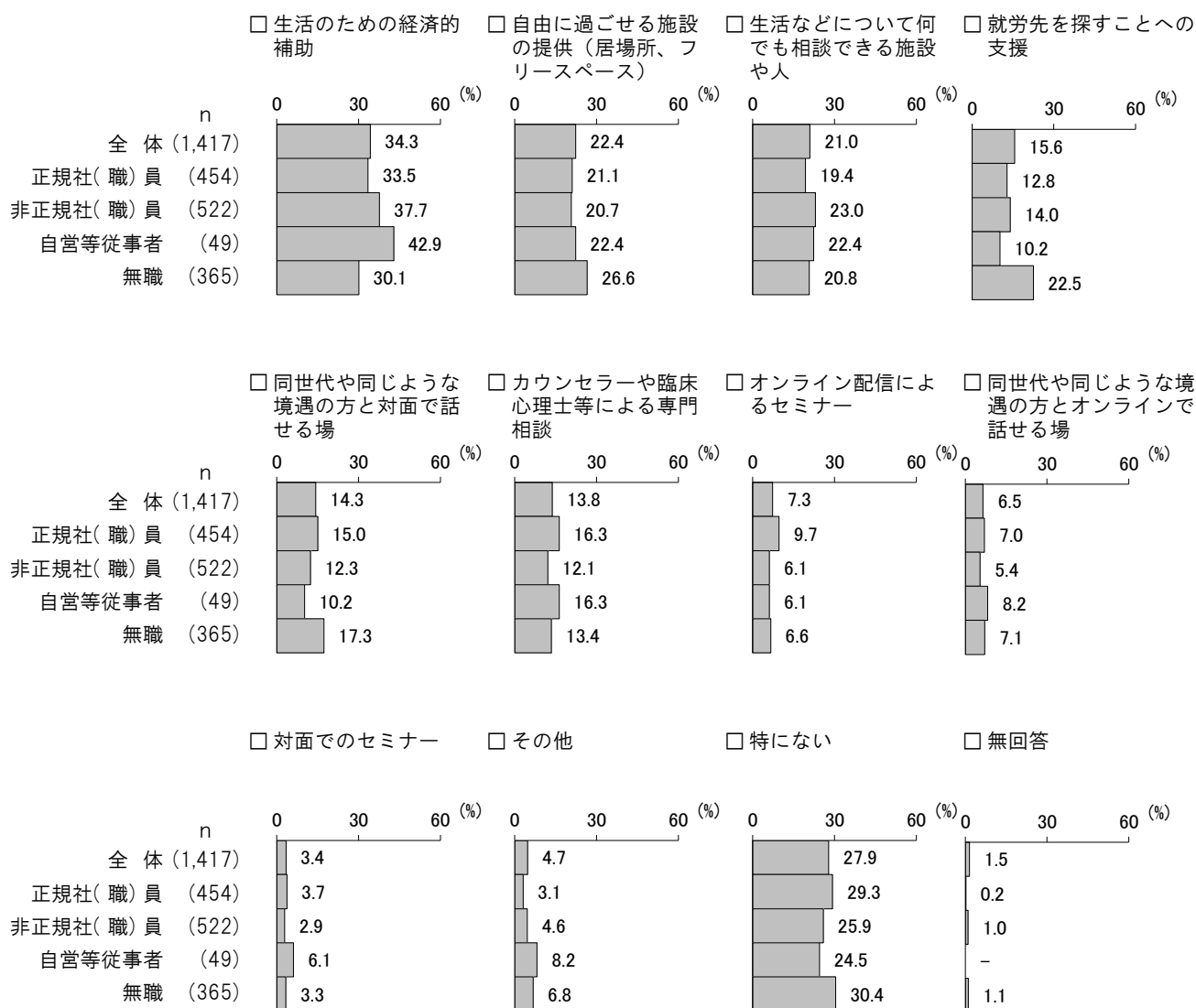
今必要であると感じる支援は、「生活のための経済的補助」が34.3%と最も高く、以下、「自由に過ごせる施設の提供（居場所、フリースペース）」(22.4%)、「生活などについて何でも相談できる施設や人」(21.0%)、「就労先を探すことへの支援」(15.6%)と続いている。一方、「特にない」は、27.9%となっている。

図表 今必要であると感じる支援（年代別）



年代別でみると、「生活のための経済的補助」は、10・20代(52.9%)で5割強と最も高く、年代が低いほど高くなる傾向がみられる。「自由に過ごせる施設の提供(居場所、フリースペース)」、「生活などについて何でも相談できる施設や人」、「就労先を探すことへの支援」、「同世代や同じような境遇の方と対面で話せる場」、「カウンセラーや臨床心理士等による専門相談」では、10・20代がそれぞれ最も高くなっている。

図表 今必要であると感じる支援（職業別）

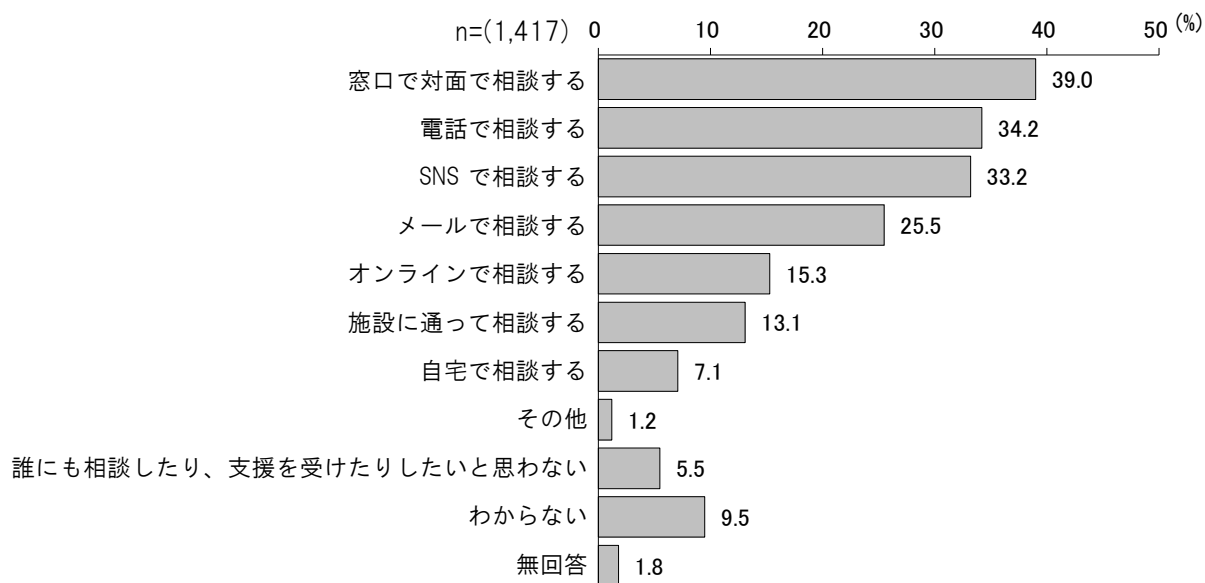


職業別でみると、「生活のための経済的補助」は、〈自営等従事者〉(42.9%)で4割強と最も高くなっている。「自由に過ごせる施設の提供(居場所、フリースペース)」、「就労先を探すことへの支援」、「同世代や同じような境遇の方と対面で話せる場」は、それぞれ〈無職〉が最も高い。

(3) 公的支援機関等から支援を受ける際に希望する相談方法

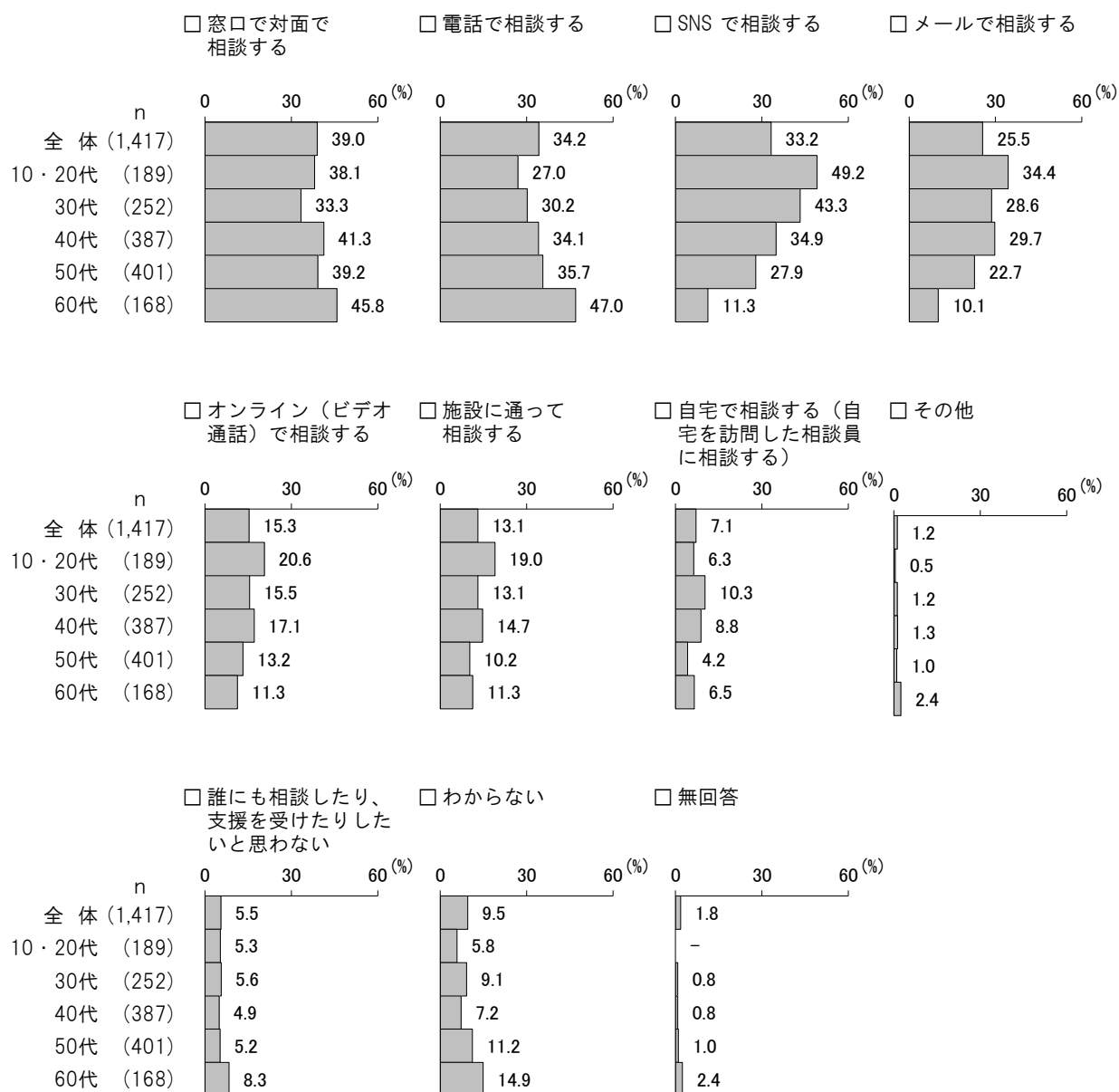
問13 公的な支援機関や専門家から支援を受ける場合に、どのような形で相談をしたいと思いますか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

図表 公的支援機関等から支援を受ける際に希望する相談方法（全体）



公的支援機関等から支援を受ける際に希望する相談方法は、「窓口で対面で相談する」が39.0%と最も高く、以下、「電話で相談する」(34.2%)、「SNSで相談する」(33.2%)、「メールで相談する」(25.5%)と続いている。一方、「誰にも相談したり、支援を受けたりしたいと思わない」は5.5%、「わからない」は9.5%となっている。

図表 公的支援機関等から支援を受ける際に希望する相談方法（年代別）

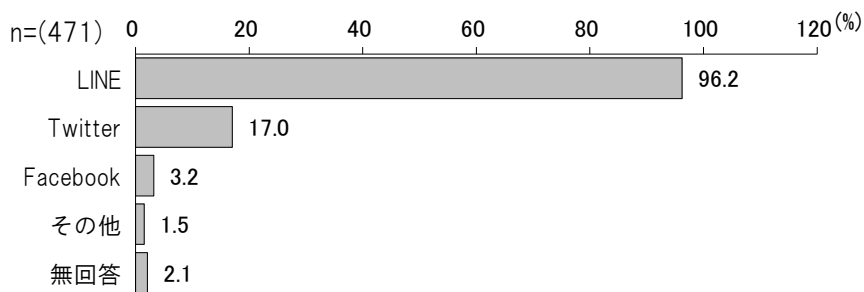


年代別でみると、「窓口で対面で相談する」、「電話で相談する」は、60代がそれぞれ4割台と最も高くなっている。「電話で相談する」は、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。「SNSで相談する」は10・20代(49.2%)では約5割と高く、年代が低いほど高い傾向がみられる。

(4) 相談したいSNSの媒体

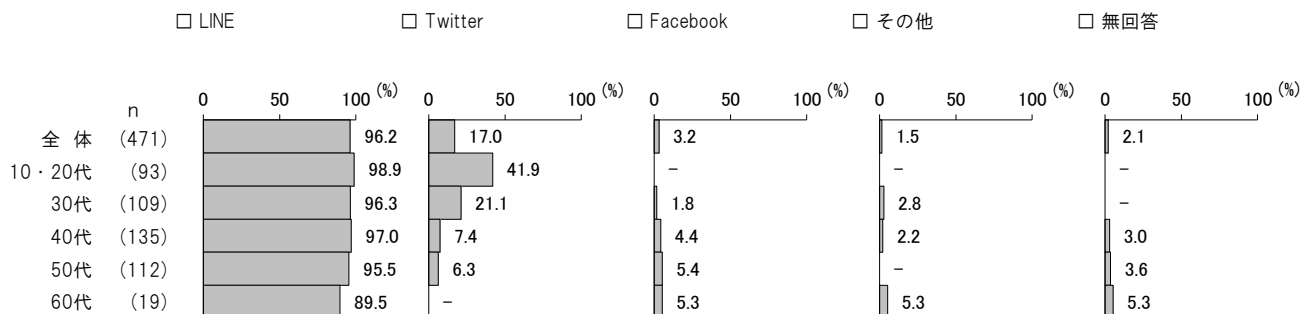
問13-1 希望するSNSに○をつけてください。(複数回答可)

図表 相談したいSNSの媒体 (全体)



相談したいSNSの媒体では、「LINE」が96.2%と最も高く、以下、「Twitter」(17.0%)、「Facebook」(3.2%)となっている。

図表 相談したいSNSの媒体 (年代別)

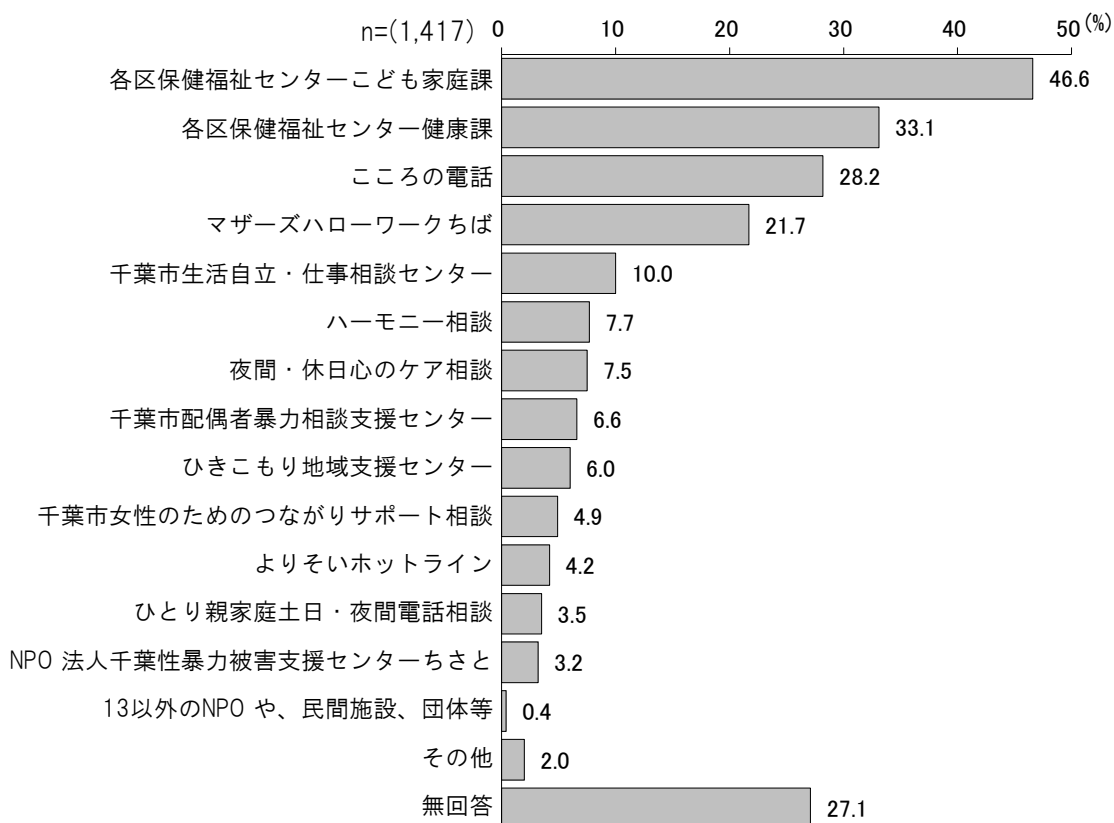


年代別で見ると、「LINE」は、10・20代(98.9%)でほぼ全数を占めており、60代を除くすべての年代で10割弱となっている。「Twitter」は、10・20代(41.9%)で4割強と高くなっている。

(5) 公的相談窓口の認知度

問14 千葉市などが実施している相談窓口で、知っているものについて、あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

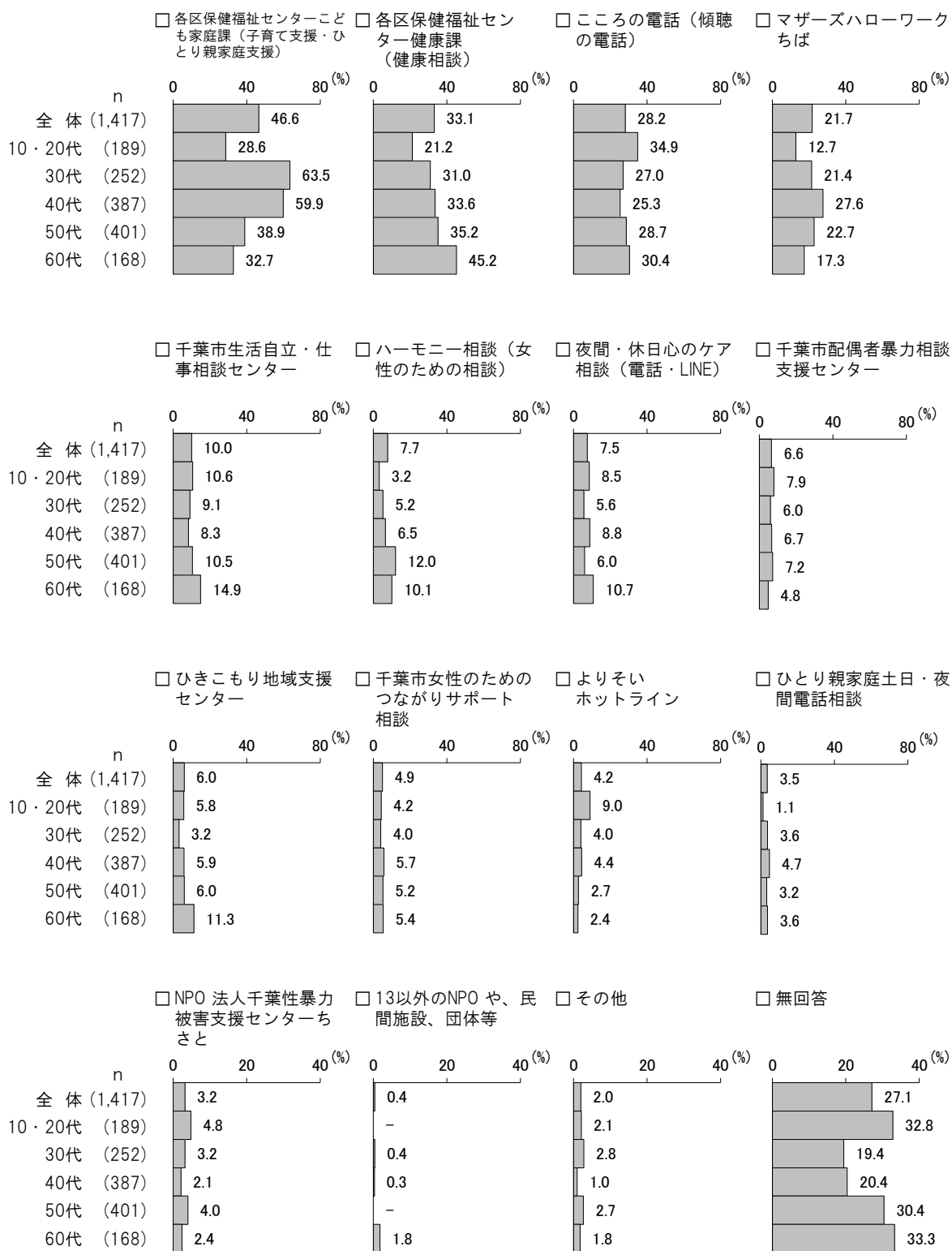
図表 公的相談窓口の認知度（全体）



公的相談窓口の認知度は、「各区保健福祉センター子ども家庭課(子育て支援・ひとり親家庭支援)」が46.6%と最も高く、以下、「各区保健福祉センター健康課(健康相談)」(33.1%)、「こころの電話(傾聴の電話)」(28.2%)、「マザーズハローワークちば」(21.7%)と続いている。

第2章 調査結果の詳細

図表 公的相談窓口の認知度（年代別）



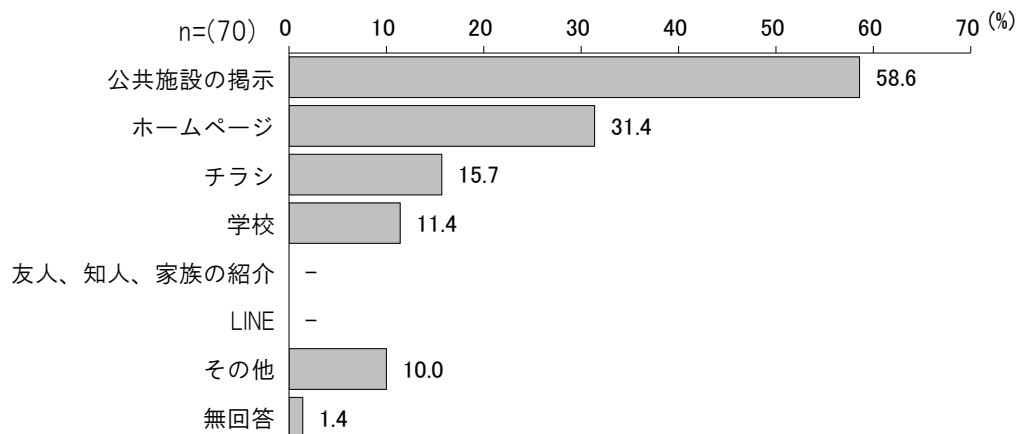
年代別でみると、「各区保健福祉センター子ども家庭課(子育て支援・ひとり親家庭支援)」は、30代(63.5%)で6割強と最も高くなっている。「各区保健福祉センター健康課(健康相談)」は60代(45.2%)では4割台半ばと高く、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

(6) 「千葉市女性のためのつながりサポート相談」を知るきっかけ

問14で「10. 千葉市女性のためのつながりサポート相談」を「知っている」と回答された方におたずねいたします。

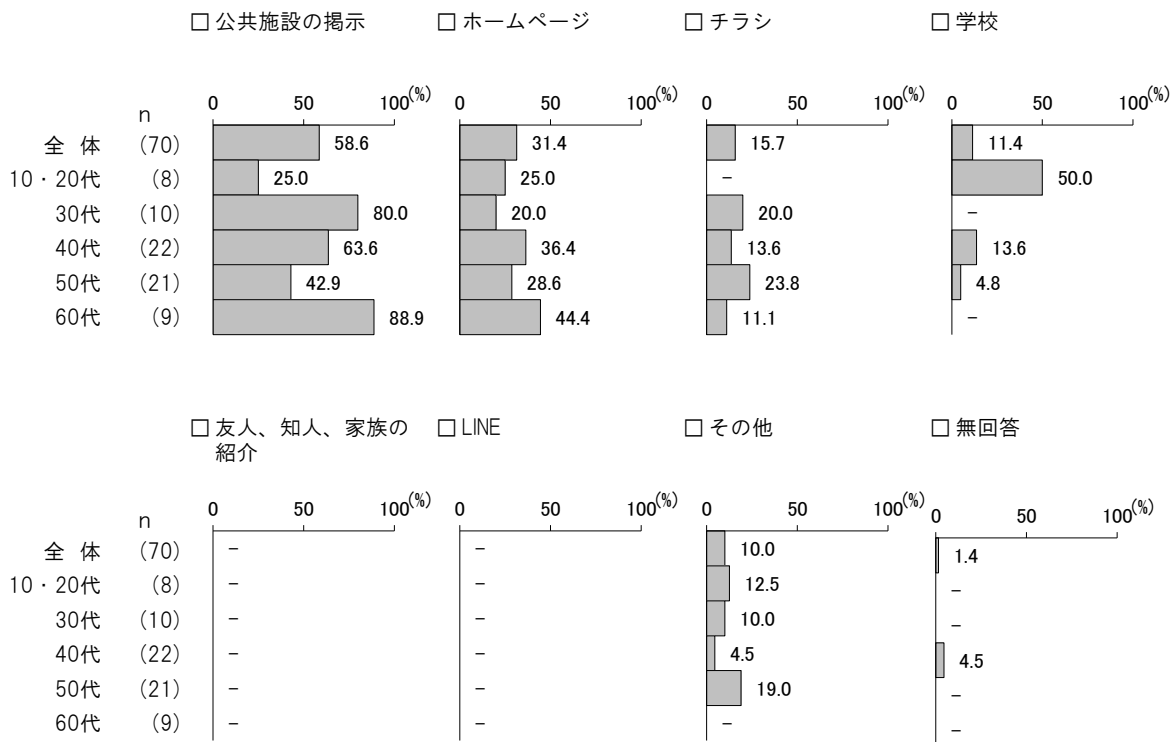
問14-1 知ったきっかけは何ですか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

図表 「千葉市女性のためのつながりサポート相談」を知るきっかけ（全体）



「千葉市女性のためのつながりサポート相談」を知るきっかけは、「公共施設の掲示」が58.6%と最も高く、以下、「ホームページ」(31.4%)、「チラシ」(15.7%)、「学校」(11.4%)となっている。

図表 「千葉市女性のためのつながりサポート相談」を知るきっかけ（年代別）

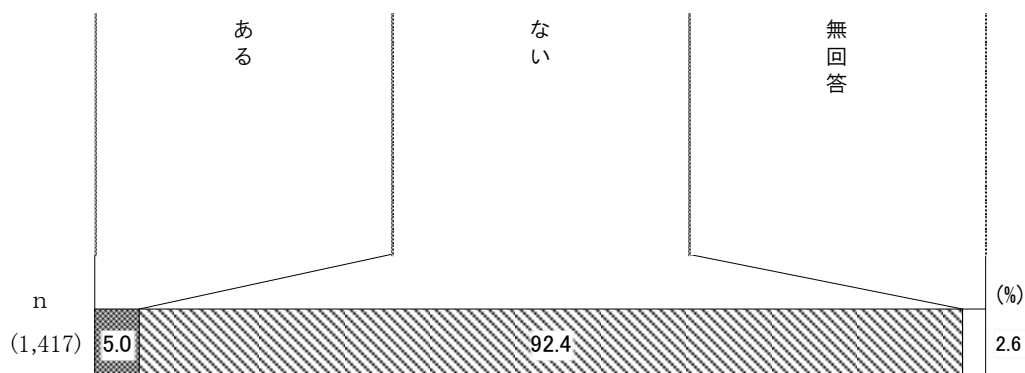


年齢別はサンプル数が30未満のため、傾向を見出すのは困難となり、分析の対象から除外している。

(7) 感染症拡大後に公的相談機関等に相談した経験の有無

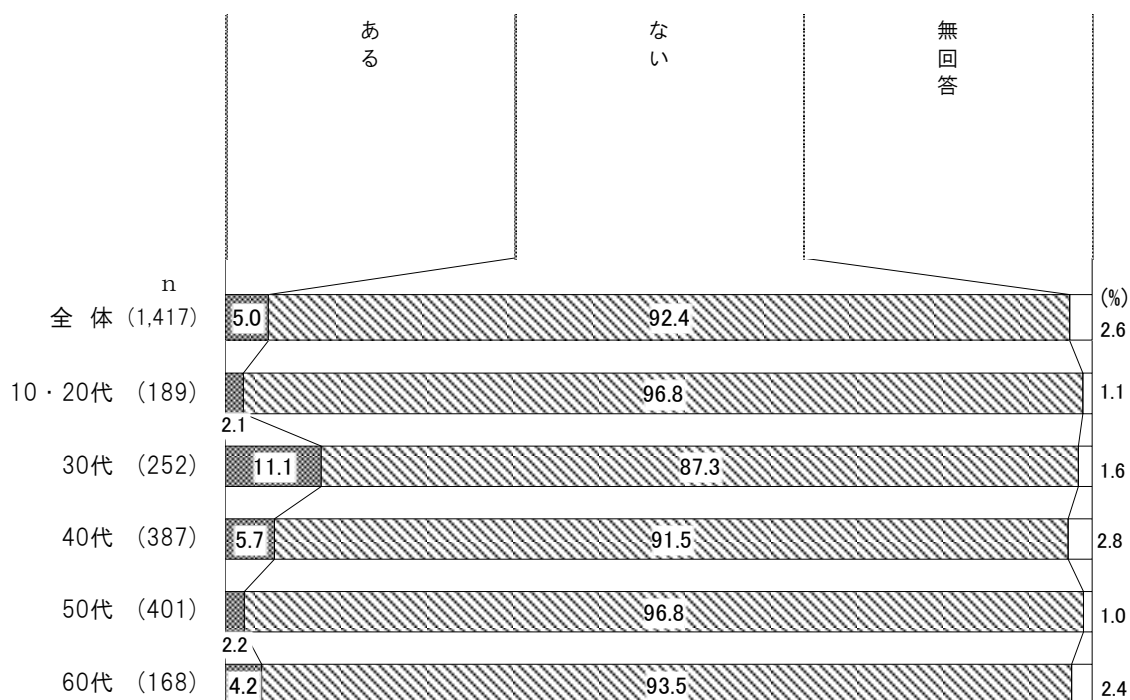
問15 新型コロナウイルス感染症拡大後に、公的な窓口や民間施設・団体等に、相談したことはありますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

図表 感染症拡大後に公的相談機関等に相談した経験の有無（全体）



感染症拡大後に公的相談機関等に相談した経験の有無は、「ない」が92.4%、「ある」が5.0%となっている。

図表 感染症拡大後に公的相談機関等に相談した経験の有無（年代別）



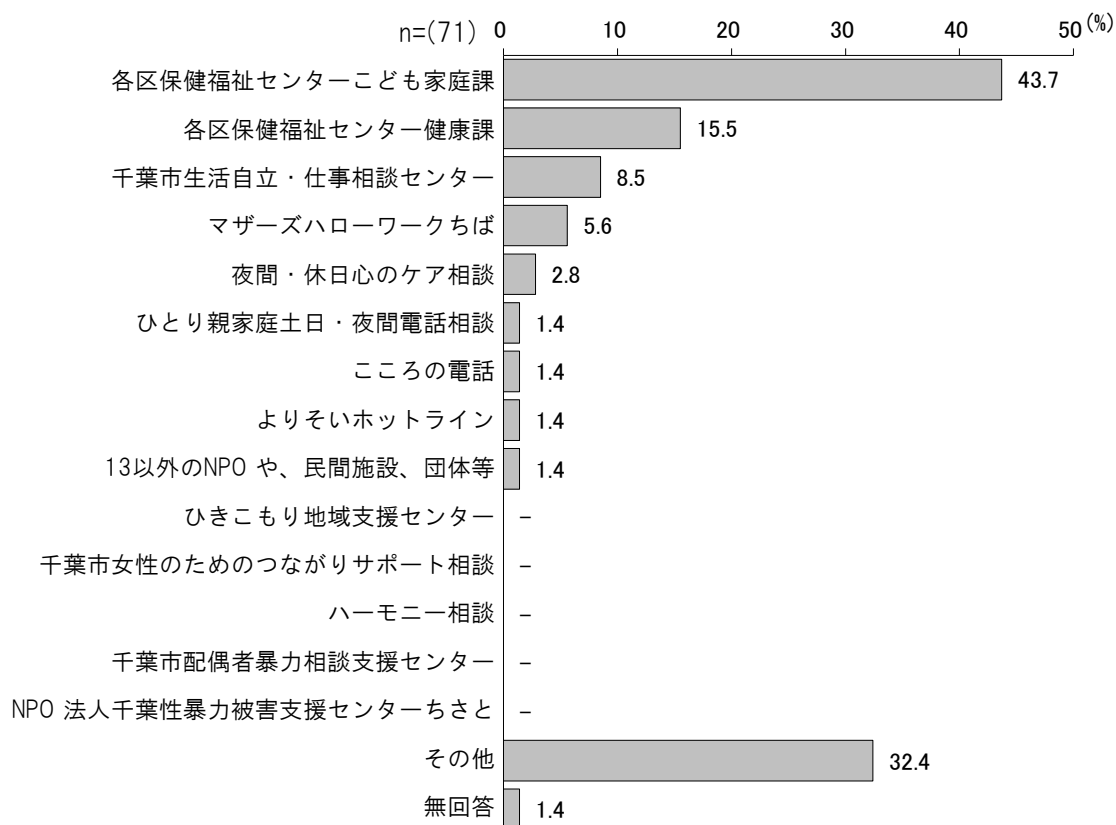
年代別でみると、「ない」は、10・20代、50代がともに96.8%と最も高く、30代を除くすべての年代で9割以上と高い傾向がみられる。「ある」は30代(11.1%)では1割強となっている。

(8) 相談した窓口や団体

問15で「1. ある」と回答された方におたずねいたします。

問15-1 どの窓口や団体に相談しましたか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

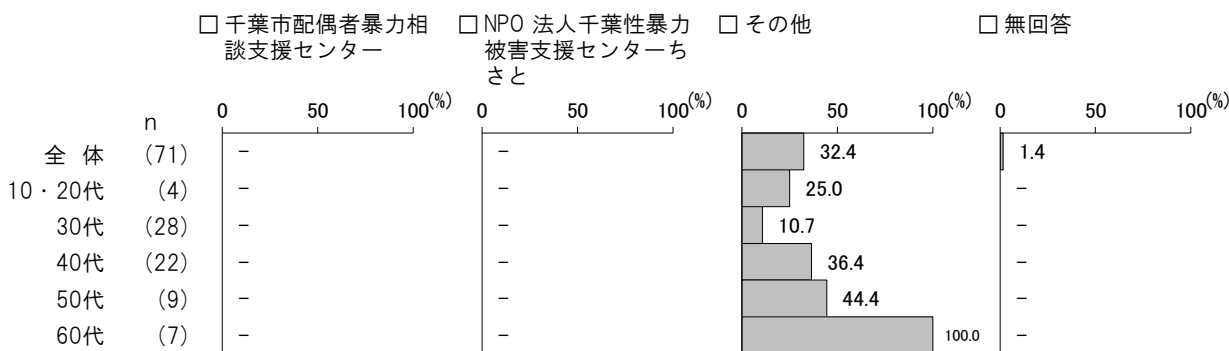
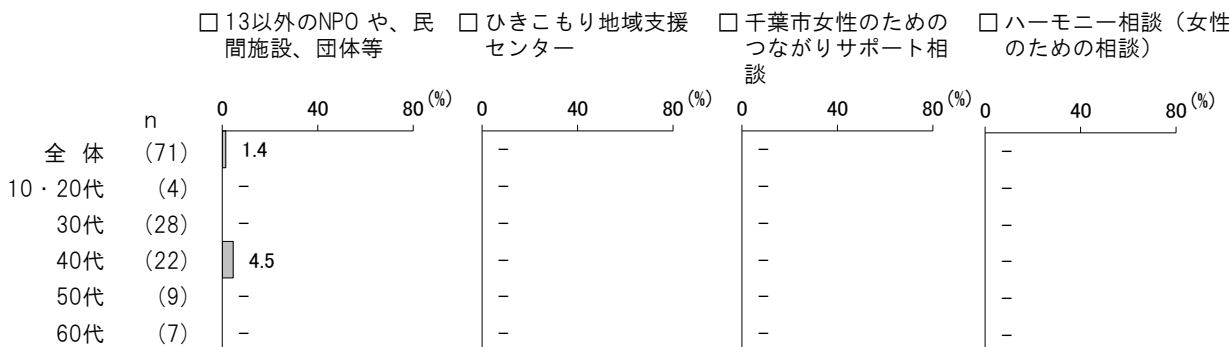
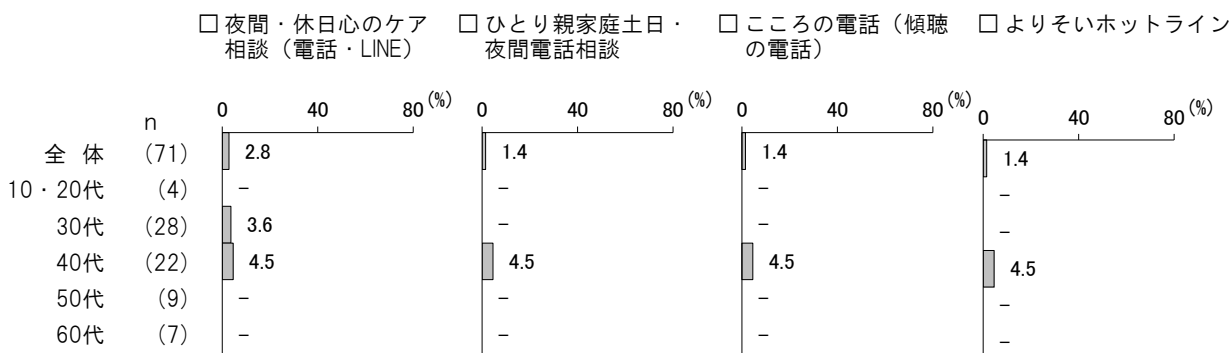
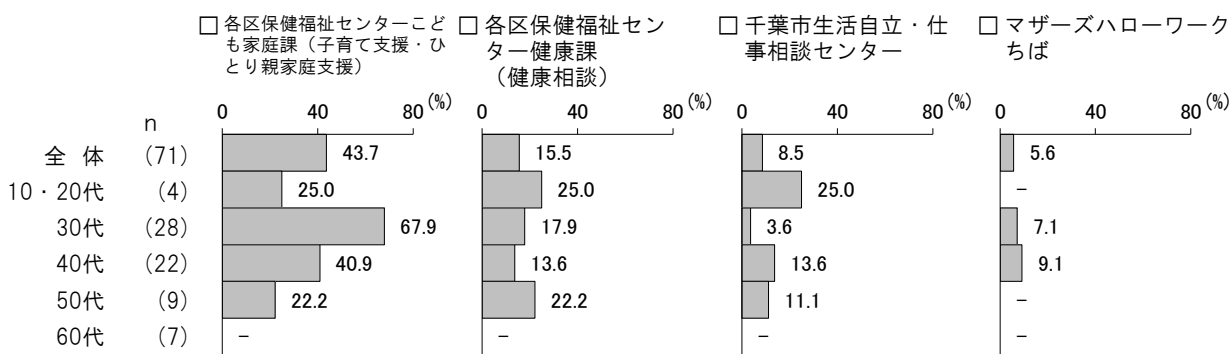
図表 相談した窓口や団体（全体）



相談した窓口や団体は、「各区保健福祉センターこども家庭課（子育て支援・ひとり親家庭支援）」が43.7%と最も高く、以下、「各区保健福祉センター健康課（健康相談）」（15.5%）、「千葉市生活自立・仕事相談センター」（8.5%）、「マザーズハローワークちば」（5.6%）と続いている。

第2章 調査結果の詳細

図表 相談した窓口や団体（年代別）

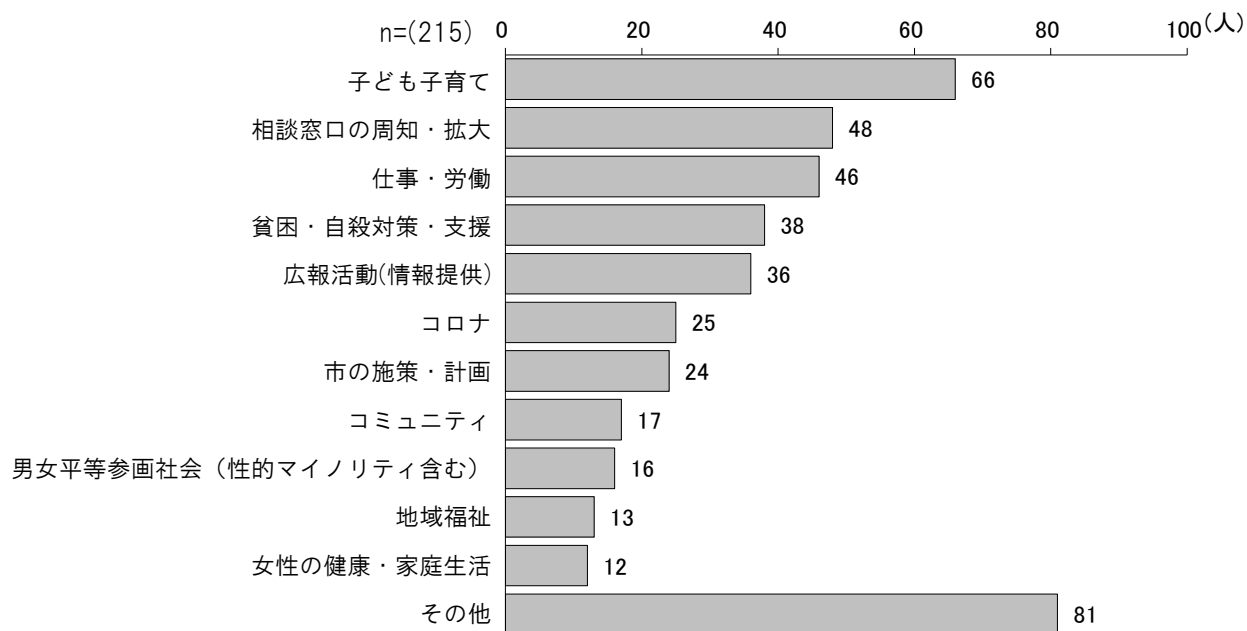


年齢別はサンプル数が30未満のため、傾向を見出すのは困難となり、分析の対象から除外している。

(9) 自由意見

問16 そのほか、市の女性施策等について、ご意見、要望等がございましたら自由にお書きください。

図表 自由意見



今後の女性施策についての市へのご意見・ご要望などについては、215名から延べ422件の記述回答があった。その内容分類別の件数は上記のとおりである。

第3章 使用した調査票

千葉市コロナ下における 社会とのつながりに関する実態調査

アンケート調査へのご協力をお願い

この度、「コロナ下における社会とのつながりに関する実態調査」として、千葉市にお住まいの女性の皆様を対象に、新型コロナウイルス感染症拡大による収入の変化や、社会とのつながりの変化などに関するアンケート調査を郵送いたしました。

千葉市では、感染症拡大などにより経済的・精神的不安を抱える女性に対し、居場所の提供やSNS相談などを行う「女性のためのつながりサポート事業」を実施しており、今後の事業の進め方を検討する際の基礎資料として、市民の皆様の意識や実態、ご意見等をお聞きしたいと考えております。

今回、1月1日現在で満18歳から65歳未満の女性3,000名を無作為に抽出し、調査票をお送りしました。調査票及び集計結果は、すべて「〇〇という回答が△△%」のように統計的に処理いたしますので、回答いただいた方が特定されることはございません。

お手数をおかけして恐縮ではございますが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和4年1月

千葉市 市民局 生活文化スポーツ部 男女共同参画課

ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、原則として、宛名にあるご本人様がご記入ください。
2. 調査の回答にあたっては、インターネットで回答するか、紙の調査票で回答するかを選択できます。どちらか一方の回答形式でお答えいただくようお願いいたします。
3. この調査は、令和4年1月1日現在の状況でお答えください。
4. ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○をつけてください。
5. 質問文の指示にそってご記入ください。
6. ご記入いただいた調査票は、1月24日(月)までに同封の返信用封筒にてご返送願います。
(差出人名、切手は不要です。)

千葉市 市民局 生活文化スポーツ部 男女共同参画課
電 話：043-245-5060
F A X：043-245-5539

紙の調査票にお進みいただいた方は、インターネットで回答いただく必要はございません

1. 働き方（収入）について

問1 新型コロナウイルス感染症拡大前と現在で、仕事の状況は変わりましたか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

1. 前も今も働いている（仕事も変わらない）
2. 前も今も働いている（仕事は変わった）
3. 前も今も働いているが、働き方が変わった
4. 自己都合で仕事を辞めた
5. 解雇された（派遣切りを含む）
6. 前は働いていなかったが現在は働いている
7. 前も今も働いていない

問1で「3. 前も今も働いているが、働き方が変わった」と回答された方におたずねいたします。
問1-1 どのような変化がありましたか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 在宅で仕事をするようになった | 4. 残業や休日出勤が増えた |
| 2. 時差出勤になった | 5. 自己都合で仕事を休んでいる |
| 3. 勤務日数や時間が減った | 6. 会社都合で仕事を休んでいる |

問2 新型コロナウイルス感染症拡大前と現在で、世帯の収入に変化はありましたか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 収入が増えた | 3. 収入が減った |
| 2. 変わらない | 4. 収入がなくなった |

問3 新型コロナウイルス感染症拡大前と現在で、あなた個人の収入に変化はありましたか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 収入が増えた | 3. 収入が減った |
| 2. 変わらない | 4. 収入がなくなった |

2. 生活・行動への影響について

問4 新型コロナウイルス感染症拡大により生活や行動に変化はありましたか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

1. あった

2. なかった

問4で「1. あった」と回答された方におたずねいたします。

問4-1 どのような変化がありましたか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

1. 仕事の負担が増えた
2. 仕事の負担が減った
3. 食事の支度や掃除等、家事負担が増えた
4. 食事の支度や掃除等、家事負担が減った
5. 子どもの世話の負担が増えた
6. 子どもの世話の負担が減った
7. 子どもを叱ることが増えた
8. 子どもを叱ることが減った
9. 配偶者・パートナーとの関係が悪化した
10. 配偶者・パートナーとの関係が良くなった
11. 地域や社会との交流が増えた
12. 地域や社会との交流が減った
13. 友人に会う機会が増えた
14. 友人に会う機会が減った
15. その他 ()

3. 心身の影響について

問5 あなたの生活満足度は、「全く満足していない」を0点、「非常に満足している」を10点とすると、①新型コロナウイルス感染症拡大前、②感染症の影響下、それぞれ何点くらいになると思いますか。あてはまる点数を1つ選んで○をつけてください。

①新型コロナウイルス感染症拡大前

全く満足していない

0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

非常に満足している

②感染症の影響下

全く満足していない

0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

非常に満足している

問6 問5の生活満足度が変化した理由（または変化しなかった理由）を教えてください。

問7 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、あなたの心身に変化はありましたか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

1. あった	2. なかった
--------	---------

問7で「1. あった」と回答された方におたずねいたします。

問7-1 どのような変化がありましたか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

1. 不安な気持ちが増えた
2. 不安な気持ちが減った
3. ストレスを感じやすくなった
4. ストレスを感じにくくなった
5. 体調が悪くなった
6. 体調が良くなった
7. 孤独を感じるが増えた
8. 孤独を感じるが減った
9. 人混みが不安になった
10. 人と会うことに不安を感じるようになった
11. その他 ()

同様に、問7で「1. あった」と回答された方におたずねいたします。

問7-2 新型コロナウイルス感染症拡大の影響などで不安やストレスを感じていることは何ですか？あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

1. お金（収入が減った、借金など）
2. 仕事（仕事がない、解雇されたなど）
3. 学校（友人関係、進学のことなど）
4. 健康（体の不調など）
5. 健康（心の不調など）
6. 家族（家に居場所がない、家族関係がうまくいっていないなど）
7. 配偶者・パートナー／交際相手（身体的暴力、言葉の暴力、性的強要、ストーカーなど）
8. 子育て（子どもの教育、育児に疲れているなど）
9. 社会とのつながり（社会とのつながりがなくなったなど）
10. その他 ()

4. 孤独・孤立について

問8 あなたは、本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人（家族、友人、親戚、同僚など）がいますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問8で「1. いる」と回答された方におたずねいたします。

問8-1 どのような人に相談できますか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|---------|
| 1. 家族 | 3. 親戚 | 5. その他（ |
| 2. 友人 | 4. 同僚 | ） |

問9 あなたのお子さんは何人いらっしゃいますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。（同居・別居は問いません。また、亡くなった方は除いてください。）

- | | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|---------|
| 1. いない | 2. 1人 | 3. 2人 | 4. 3人 | 5. 4人 | 6. 5人以上 |
|--------|-------|-------|-------|-------|---------|

問9で2～6のお子さんがいると回答された方におたずねいたします。

問9-1 あなたの一番下のお子さんにあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. 0・1・2歳 | 6. 大学生・大学院生 |
| 2. 3歳以上で小学校入学前 | 7. 学校教育終了 |
| 3. 小学生 | 8. その他 |
| 4. 中学生 | （ |
| 5. 高校生 | ） |

問9-1で1～5のお子さんがいると回答された方におたずねいたします。

問10 あなたは、近隣に、子育てに関する悩みを打ち明けたり、相談したりすることができる人はいいますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問10で「1. いる」と回答された方におたずねいたします。

問10-1 どのような人に相談できますか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1. 家族 | 3. 親戚 | 5. 行政の窓口 |
| 2. 友人 | 4. 同僚 | 6. その他（ |
| | | ） |

5. 困っていること、必要な支援について

問11 あなたは、今どのようなことで困っていますか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

1. 自分の仕事
2. 自分の生き方
3. 配偶者（パートナー）との関係
4. 家族（配偶者・パートナーを除く）との関係
5. 家族以外との人間関係
6. 暴力被害・性暴力被害
7. 自分自身や家族の健康面
8. 自分自身や家族の経済面
9. 子育て（子どもの教育、育児に疲れているなど）
10. 社会とのつながり（社会とのつながりがなくなったなど）
11. その他（)
12. 特にない

問12 あなたは、今どのような支援があると良いと思いますか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

1. 生活のための経済的補助
2. 就労先を探すことへの支援
3. 同世代や同じような境遇の方と対面で話せる場
4. 同世代や同じような境遇の方とオンラインで話せる場
5. カウンセラーや臨床心理士等による専門相談
6. 生活などについて何でも相談できる施設や人
7. 自由に過ごせる施設の提供（居場所、フリースペース）
8. オンライン配信によるセミナー
9. 対面でのセミナー
10. その他（)
11. 特にない

問14で「10. 千葉県女性のためのつながりサポート相談」を「知っている」と回答された方におたずねいたします。

問14-1 知ったきっかけは何ですか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

- | | |
|-----------|----------------|
| 1. ホームページ | 5. 公共施設の掲示 |
| 2. チラシ | 6. 友人、知人、家族の紹介 |
| 3. LINE | 7. その他 |
| 4. 学校 | () |

問15 新型コロナウイルス感染症拡大後に、公的な窓口や民間施設・団体等に、相談したことはありますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問15で「1. ある」と回答された方におたずねいたします。

問15-1 どの窓口や団体に相談しましたか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 1. 各区保健福祉センターこども家庭課（子育て支援・ひとり親家庭支援） | |
| 2. 各区保健福祉センター健康課（健康相談） | |
| 3. ひとり親家庭土日・夜間電話相談 | |
| 4. 千葉県生活自立・仕事相談センター | |
| 5. マザーズハローワークちば | |
| 6. 夜間・休日心のケア相談（電話・LINE） | |
| 7. こころの電話（傾聴の電話） | |
| 8. よりそいホットライン | |
| 9. ひきこもり地域支援センター | |
| 10. 千葉県女性のためのつながりサポート相談 | |
| 11. ハーモニー相談（女性のための相談） | |
| 12. 千葉県配偶者暴力相談支援センター | |
| 13. NPO法人千葉性暴力被害支援センターちさと | |
| 14. 13以外のNPOや、民間施設、団体等（ | ） |
| 15. その他（ | ） |

問16 そのほか、市の女性施策等について、ご意見、要望等がございましたら自由にお書きください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

次ページからの「6. あなた自身について」の質問にもご回答ください。

6. あなた自身について

F2 あなたの年齢（令和4年1月1日現在）にあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1. 10歳代 | 3. 30歳代 | 5. 50歳代 |
| 2. 20歳代 | 4. 40歳代 | 6. 60歳代 |

F3 あなたの就労状況について、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 正規の社（職）員 | 7. 内職 |
| 2. 契約社（職）員（臨時・派遣を含む） | 8. 専業主婦 |
| 3. 経営者・事業者 | 9. 学生 |
| 4. 自営業・家族従事者 | 10. その他
(具体的に：) |
| 5. 自由業 | 11. 無職 |
| 6. パート・アルバイト | |

F4 あなたの現在の婚姻状況（事実婚含む）にあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 結婚している（事実婚含む） | 3. 現在は結婚していない（離別・死別など） |
| 2. 同性パートナーがいる | 4. 結婚したことがない |

F5 あなたの世帯の年収について、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 100万円未満 | 6. 500万円以上600万円未満 |
| 2. 100万円以上200万円未満 | 7. 600万円以上700万円未満 |
| 3. 200万円以上300万円未満 | 8. 700万円以上800万円未満 |
| 4. 300万円以上400万円未満 | 9. 800万円以上 |
| 5. 400万円以上500万円未満 | |

F6 あなたの個人の年収について、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 100万円未満 | 6. 500万円以上600万円未満 |
| 2. 100万円以上200万円未満 | 7. 600万円以上700万円未満 |
| 3. 200万円以上300万円未満 | 8. 700万円以上800万円未満 |
| 4. 300万円以上400万円未満 | 9. 800万円以上 |
| 5. 400万円以上500万円未満 | |

F7 現在、あなたと同居している人について、あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------|--------------------------|
| 1. 父 | 8. 恋人 |
| 2. 母 | 9. 友人 |
| 3. きょうだい | 10. 親の再婚相手 |
| 4. 祖父母 | 11. 同居家族の内縁者 |
| 5. 配偶者・パートナー | 12. その他（学生寮や社員寮に住んでいるなど） |
| 6. ご自身のお子さん | 13. 同居人はいない（単身世帯） |
| 7. その他親族 | |

ご回答ありがとうございました。

ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、
切手を貼らずに、1月24日（月）までに、ポストに投函してください。

紙の調査票にお進みいただいた方は、インターネットで回答いただく必要はございません

上記内容を確認しました （ボックスに☑）

千葉県コロナ下における
社会とのつながりに関する
実態調査報告書

令和4年3月

発行：千葉県 市民局 生活文化スポーツ部 男女共同参画課
〒260-8722 千葉県中央区千葉港1番1号
TEL:043-245-5060 FAX: 043-245-5539
